

第七十四回帝國議會
衆議院

青年學校教育費國庫補助法案委員會會議錄(速記)第十一回

付託議案
青年學校教育費國庫補助法案(政府提出)

會議

昭和十四年三月三日(金曜日)午後二時開議

出席委員左ノ如シ

委員長 野村 嘉六君

理事岡田喜久治君 理事會和 義式君

今成留之助君 佐藤 與一君

長野 長廣君 樋口善右衛門君

庄司 一郎君 田子 一民君

猪野毛利榮君 河上 哲太君

河合 義一君 椎尾 辨匡君

三月二日委員手代木隆吉君辭任ニ付其ノ補關トシテ今成留之助君ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席國務大臣左ノ如シ

文部大臣 男爵荒木 貞夫君

出席政府委員左ノ如シ

文部政務次官 小柳 牧衛君

文部省實業學務局長 小笠原豐光君

文部省社會教育局長 田中 重之君

文部省宗教局長 松尾 長造君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

青年學校教育費國庫補助法案(政府提出)

○野村委員長 是ヨリ開會致シマス——荒

木國務大臣

○荒木國務大臣 昨日椎尾委員ヨリ御質疑

ノアリマシタ問題ニ對シテ御答致シタイト思ヒマス、先以テ間違ヒナイヤウニ、御尋ノ趣旨ヲ一應申上ゲマスルガ、祖先崇敬ガ尙古保存ノミニ墮シテ、國家民族ヲ或ハ衰亡ニ陷レ、或ハ易世革命ニ導イタヤウナ過去ノ事例ニ徴シテ、歐米ニ於テハ祖先崇敬ハ進歩ヲ阻碍スルモノデアルト云フコトデ之ヲ排シテ、茲ニ個人主義ニ陷リ、我國ニ於テモ亦爲ニ歐米ノ此ノ思想ニ禍サレタヤウナコトモ多カッタノデアアル、我が祖先崇敬ガ此ノ意味ニ於テ唯尙古保守ト云フコトトドレダケノ違ヒガアルカ、之ヲ皇道ト云フ立場カラ如何ニ見ルカ、斯ウ云フ御尋ノヤウニ拜承致シタノデアリマス、申スマデモナク御承知ノヤウニ、我國ノ肇國ノ大業ハ、今此處デ改メテ神代ノ歴史ヲ申上ゲルマデモナイノデアリマスガ、我國ノ開闢ニ當ツテ、殊ニ國造リノ肇メニ當ツテ、伊弉諾、伊弉冉ノ二神ガ天津神ノ仰セヲ受ケテ我國ヲ創造遊バサレル時ニ於ケル神勅ト致シマシテ、此ノ漂ヘル國ヲ修理固成セヨ、斯ウ云フ仰セヲ承ツテ、我國ノ創造ガ茲ニ具體的ニ歩ヲ踏ミ出シタ、斯ノ如キ神代ノ

歴史ヲ拜誦致シマシテ靜カニ拜察致シマス

ルト、漂ヘル國ヲ修理固成スルト云フ此ノ御意味ノ中ニハ、混沌トシテ居ル狀態ノ中カラ理想境ヲ造リ上ゲ、茲ニ秩序ヲ保チ、幸福ヲ齎シ、平和ヲ來シ、天理ニ叶ツタ、天地ノ公道ニ即シタ理想境ヲ造リ上ゲルノデアルト云フ、其ノ大使命ヲ此ノ中ニ御含ミニナツテ居ルモノト拜察致スノデアリマス、洵ニ有難キ教デアリマシテ、此ノ歴史ニ基イテ茲ニ吾々ハ飽マデ奮闘努力ヲ致サナケレバ理想境ニハ到達シナイノデアアル、即チ奮闘努力ガ、國ノ創造ノ肇リヨリ脈々トシテ傳ヘラレタ氣魄ニナツテ居ルコトト存ズルノデアリマス、故ニ偷安姑息ニ流レ、唯逸樂ヲ趁ウテ徒ニ無意味ナル生活ヲ送ツテ人生ヲ終ルト云フヤウナコトハ、我國ノ教デアリマシテ、其ノ理想境ニ到達スルマデハ飽マデ努力奮闘致サナケレバナラヌノデアアル、茲ニ一步々理想境ヘノ進歩ガアルノデアリマシテ、進歩ナクシテ、我國ノ創造ノ肇リニ於ケル、肇國ノ御精神ヲ發揮スルコトハ出來ナイノデアアル、斯ウ拜察致スノデアリマス、動モ致シマスト祖先ヲ崇敬スルト云フコトガ他力本願ニナツ

テ、之ニ倚リ掛ツテ安逸ヲ貪リ、偷安ニ耽

ルト云フヤウナコトガヨクアルノデアリマスガ、斯ノ如キコトカラ、或ハ御指摘ナリマシタ歐米人アタリガ此ノ國家民族ノ隆替ノ跡ヲ眺メテ、茲ニ祖先崇敬ヲ排スルト云フヤウナコトモ起ツタノデハナイカ、即チ出發點ニ於テ安逸偷安ト云フヤウナコトヲ理想トシテ參リマス所ト、奮闘努力ニ依ツテ理想境ヲ造リ上ゲルト云フ所トニ非常ナ差異ガアルデハアルマイカ、斯ウ云フ風ニ拜察致シマス、奮闘努力、而シテ理想境ヘノ進歩、茲ニ神武天皇様ノ八紘一字ノ大精神モ能ク拜察ガ出來ルノデアリマシテ、此ノ御精神ニ一致スルコトデアツテ、偷安姑息デアツテハ此ノ御精神モ顯現出來ナイコトデアアル、斯ウ拜察致スノデアリマス、尙古、古ニ復ルト云フヤウナコトモ、動モスルト緩ミ勝ニナル精神ニ鞭ウツテ、古ノ尊イ精神ニ復レト云フコトニ外ナラスノデアラウト拜察致スノデアリマス、殊ニ今上陛下ガ御即位ニ當リマシテ詔ヲ賜リマシテ御示シナリマシタ中ニ「我國ノ國是ハ日ニ進ムニ在リ日ニ新ニスルニ在リ」ト仰セラレテ居リマス、又「日進以テ會通

ノ運ニ乗シ日新以テ更張ノ期ヲ啓キ」ト仰セラレテ居ルノデアリマス、明治維新ノ洪謨ニ於テ國是トシテ五箇條ノ御誓文ニ依ツテ御示シナリマシタ中ニモ「上下心ヲ一ニシテ盛ニ經綸ヲ行フヘシ」絶エズ理想境ヘ進歩、理想境ヘノ日進日新ノ御精神ヲ御示シナリ、國ガ開ケ世界トノ交通ガ多クナルニ從ツテ、益、此ノ氣持ヲ盛ニ致シテ、我ガ帝國ノミナラズ、世界ヲシテ此ノ理想境ヘト云フ大精神ハ、一貫シテ古カラ今ニ吾々ハ教ヲ受ケテ居ルノデアリマシテ、皇道ヲ拜スル時ニ、古ニ立還ル時ニ、動モスルト衰頹セントスル、弛緩セントスル、安逸ヲ貪ラントスル心ヲ引返シテ、茲ニ奮闘努力ニ向ツテ、其ノ中心ニ向ツテ進ム所ニ我國ノ教ノ尊サガアルト拜察致スノデアリマス、即チ皇道ヲ仰グト云フコトハ此ノ精神ニ立還ルト云フコトデアリ、此ノ精神ヲ深く體シテ日進日新ノ道ヲ旺シシテ、以テ昨日申上ゲマシタ皇道ノ御精神ヲ顯現スルニ在ルト存ジマス、崇祖ノ意味、敬神ノ意味共ニ此ニ在リマスルガ故ニ、古ニ復ルコトハ進歩デアリ發達デアリ努力デアアル、而シテ感謝報恩ノ念、人間ノ自然ノ情、天地ノ公道タルベキ眞理ヲ茲ニ喚ビ起シテ、自ラ其ノ尊イ教ト相結シテ祖先崇敬ノ

念ガ彌ガ上ニモ堅クナリマシテ、ソレニ依ツテ一步々發達致シテ參ルノデアリマス、今マデ申シマシタヤウニ、安逸ヲ貪ツテ、唯之ニ倚リ掛ツテ樂ヲシテ行カウト云フ爲ノ祖先崇敬、正シイ、教ヲ持タザル、皇道ヲ持タザル祖先崇敬ト云フコトハ、或ハ御示シナリマシタヤウニ易世革命、或ハ一國ノ衰亡ニ陷ツタガモ知レマセヌガ、我國ニ於テハ尊キ所ノ皇道ガアラレマスルガ故ニ、敬神崇祖ノ念ニ燃エマスルコトハ、總テ理想境ヘノ進歩發達、努力、士氣ノ振起、總テ對シテ茲ニ發達ヲ齎シ得ルト存ズルノデアリマス、故ニ我國ニ於テ祖先ヲ崇敬致シマスルト云フ此ノ念ハ奮闘努力、日進日新ノ精神ヲ明ニスルコトデアリマシテ、茲ニ益、榮エ、益、其ノ榮エルコトガ理想境ヘ、即チ萬人ガ處ヲ得萬國ガ處ヲ得、以テ八紘一字ノ御精神ニ達スルコトモ、此ノ御精神ヲ招致セシメタ所ノモノダト拜察致スコトガ出來マスルガ故ニ、斯ク深く心ニ體シマスル時ニ我國ニ於テハ洵ニ有難キコトデアツテ、王政復古ト云ヒ、尙古ト云ヒ、肇國ノ精神ヲ仰グト云ヒ、肇國ノ昔ニ還ルト云フコトハ、即チ此ノ大精神ヲ喚ビ起スニ外ナラヌコトデアツテ、是ガ爲ニ御指摘ニナツタヤウニ外國ノ事例ノヤウニナ

ルコトハナイ、寧ロ、反對ニ生キ／＼トシ國舊クシテ何時デモ若々シイト云フ氣持ノアルコトモ茲ニ出發スル、斯ウ云フ風ニ拜察致スノデアリマス、隨テドウシテモ祖先崇敬ナクシテハ我國ノ發達ハナイ、是ナクシテ我國ノ將來ガ榮エマスト云フコトハナイ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス、以上甚ダ簡單ナコトデアリマシテ、短イ時間ニ尊イ此ノ御教ヲ全部申シ盡スコトガ出來マセヌデシタガ、御諒承ヲ御願致シタイト思フノデアリマス

ソレカラ第二ノ天佑ノ問題デアリマスガ、昨日ノ御話ハ天佑我ニ在リト云フヤウナコトヲ教育的ニ如何ニ心得サセルカ、之ヲ皇道精神カラ見テ如何ニ取扱フベキカ、斯様ナ御尋ノヤウニ思ヒマス、事方宗教ニ、哲學ニ、而シテ政治ニ、道德ニ教育ニ關聯ヲ持ツ問題デ、非常ニ廣汎デゴザイマスルガ、謹ンデ惟ンミマスルニ、吾々ガ神勅トシテ絶エズ「寶祚ノ隆エマサンコト天壤ト與ニ窮リナカルベキモノゾ」トノ御神勅ヲ拜シマスル時ニ、既ニ天佑ノ第一義ハ吾々ノ頭ニ深く感銘致スコトト存ジマス、既ニ神國デアリ、神勅ヲ拜シ、殊ニ之ニ依ツテ今日寶祚ガ隆エマシテ行クト云フコトハ、特ニ神勅ヲ仰イデ、吾々ガ營々トシテ只今申上ゲマ

シタヤウナ皇祖皇宗ノ御遺訓ヲ體シテ行ク所ニ、深キ加護ガアラレルカラダト云フコトヲ感銘致シテ居ルコトト存ジマス、今上陛下ガ御即位ノ時ニ賜リマシタ勅語「洵ニ屢、勅語ヲ茲ニ申上ゲマスコトハ恐懼ニ堪ヘナイノデアリマスガ、事ハ最モ重大ナ問題デアリマスガ爲ニ、姑ク茲ニ拜誦致シマス、御即位ニ當リ「惟神ノ大道ニ遵ヒ天業ヲ經綸シ」ト御示シナリ又「祖宗ノ威靈ニ頼リ敬ミテ大統ヲ承ケ恭シク神器ヲ奉シ」ト仰セラレテ居リマス、「天佑ヲ保有シ萬世一系ノ皇祚ヲ踐メル」ト斯ウ屢、宣ハセラレタコトモ、此ノ神勅ニ據ラレタノデアリマシテ、天壤ト與ニ窮リナキ寶祚ノ隆エマス此ノ御加護ヲ深く體セラレテ、吾々國民ガ茲ニ仰イデ以テ天佑神助、此ノ事ヲ感銘致シテ居ルカラデアルト存ズルノデアリマス、即チ天佑我ニ在リト云フコトハ、既ニ此ノ神勅ヲ拜シマシテ、茲ニ御説明申シマセズトモ何人モ帝國ノ臣民デアラン限り明瞭ニ體得出來ルコトト信ズルノデアリマス、故ニ前段申上ゲマシタ如ク、肇國ノ此ノ尊イ御精神ヲ拜シテ進ム時ニ、天佑アリ神助アリ、我國ノ寶祚ガ天壤ト與ニ窮マリナク隆エマスト云フコトガ具現出來ルノデアアル、即チ吾々ハ皇道ヲ仰イデ、吾々ノ踐ムベキ理想

境へ進ムコトニ依ツテ天佑ガアル、之ニ依
ツテ初メテ人格以上ノ力ガ出、其ノ力ハ皇
道ヲ仰イデ吾々ノ臣道——臣民ノ道ヲ盡シ
テ、總テヲ皇室ニ捧ゲ奉ル時ニ偉大ナル力

ガ現ハレル、此ノ偉大ナル力、人格以上ノ力
ガ現ハレルト云フコトガ即チ天佑デアリ神
助デアアルノデアリマス、自ラガ曇リナク清
ラカニ進ミマシテ、ソコニ自ラ御神勅ノ具
現ガアルノデアアル、茲ニ信仰、或ハ宗教心
或ハ忠誠ノ燃ユルガ如キ觀念モ生ジテ來テ、
世界無比ノ國體ノ下ニ、世界無比ノ此ノ國
家民族ノ現ハレガ見ユルノデアアル、即チ我
ガ皇祖皇宗ノ御遺訓ヲ奉ジテ進ム所ニ日進
日新ノ進歩發展ガアリ、其ノ事ソレ自體ガ
即チ天佑デアリ神助デアリ、茲ニ神國トシ
テノ姿ガ現ハレル、神國ニ生ヲ享クル吾々
ノ誇ガ、茲ニ實際ノ力トシテ物心兩方面ニ
現ハレルノデアアル、御稜威ヲ仰イデ茲ニ
吾々ガ一切ヲ捧ゲ、茲ニヒレ伏シテ、總テ皇
道ヲ奉ジテ其ノ顯現ニ進ミ行ク道モ現ハレ
テ來ルノデアアルト存ズルノデアリマス、甚
ダ短カクアリマシテ意ヲ盡シマセヌデアリ
マシタガ、御稜威ヲ仰グト云フコト、天佑
我ニ在リト云フコト、斯様ナコトヲ皇道精
神カラ、或ハ教育上カラ之ヲ見マスル時ニ、
斯ク私共考ヘマシテ、茲ニ一ツノ信仰トナ

リ、信念トナツテ行クベキモノデアアル、斯
様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス、甚ダ短イ
時間デアリマシテ意ヲ盡シマセヌデアリマ
シタガ、以上ヲ以テ御諒承ヲ願ヒマス

○樞密委員 昨日御伺シマシタコトニ十分
ナル御答ヲ戴キマシテ、殊ニ祖先ヲ崇敬崇
拜致シマスルコトガ、一般人ニ於キマシテ
ハ日常ノ行事デアリマスルニ拘ラズ、其ノ
意識ガ極メテ不明瞭デアアル、殊ニ徳川時代
ニ於キマシテ武士ノ間ニ鼓吹致シマシタ祖
先崇敬ハ、主トシテ支那ノ思想形式ヲ模倣
致シマシタコトガ多イ爲ニ、今以テサウ云
フ思想ガ著シク入ツテ居リマシテ、國體皇
道ト醇化シテ居ナイモノガ多分ニアルヤ
ウニ存ジマス、ソレ故ニ御伺申シタノデア
リマスルガ、我國ニ於テハ崇祖ハ奮闘努力
デアアル、日ニ新ニ進ムコトデアアルト、漸ク
ニシテ御示シマ戴キマシタコトハ、世人ヲ
啓發スルモノガ大デアアルト存ジマス、勿論
肇國ノ古ニ其ノ道ガ現ハレマシテ、歴史ヲ
通ジテ段々ト發展シテ參リマシタガ其ノ古
ガ有難イコトデアリ、秀レタコトデアリマス
ト同時ニ、崇祖ガ今日行ハレ、明日ニドウ
ナルカト云フコトガ非常ニ強イ所ニ、我ガ
皇道日本ノ祖先崇敬ノ偉大ナル特色ガアル
モノト存ジマシテ、此ノ點ニテ古フ尙祖

先ヲ敬フコトハ先以テ奮闘努力デアアルト云
フ點ノ御示シ、日ニ進ミ行クコトデア
ルト云フコトガ洵ニ明瞭ヲ加ヘマシテ、結
構デアアルト存ジマス、次ニ天佑ニ關シマシテ、

是亦其ノ古ノ尊ク現ハレテ居リマスルコト、
其ノ力ガ偉大ナル神助冥佑トモナリ、常ニ
惠マルルコトヲ有難ク感激シ邁進シマスル
コトガ尊イ一面デアアルト云フ御示シハ、重
大ナル一面ダト存ジマスガ、唯其ノ方面ニ
於キマシテハソレ以上御伺致シマセヌガ、
天佑ヲ兒童青年ニ示シマスルニ、唯古ノ秀
レタルコトハ宜イノデスガ、現在天佑ヲ扱
ヒマスコトハ、極メテ偶然ナル機倖、便利
デアリマスヤウナ場合ニ天佑ガアツタト致
シマスルノデ、ドウモ教育的ニハ不適當ナ
ヤウニ——都合ガ好イカラハ天佑ダト言
ヘバ、子供モ青年モ一通リ諒承スルヤウデ
アリマスケレドモ、若シ反問サレタ時ニハ
直グ行詰ルカラ、教育者ガ之ニ觸ルルコト
ヲ憚ルノダト思フノデアリマス、過去ニ對
シマシテ此ノ尊イ御國ト其ノ歴史ガ、天佑
デ渴仰スベキモノデアアルト云フコトハ明瞭
デアリマスガ、現在丁度都合好ク風ガ吹イ
タト云フコトデア天佑ダト云フ形ヲ多ク言ヒ
マスモノデスカラ、サウスルト一昨日ノ火
藥庫ノ爆發ト云フヤウナコトハ、アレデハ

天佑ハ日本ニドウデスカト云フヤウナ言ヒ
方ガ、直グ兒童青年カラ出マスト云フト、
教育者ガ餘程行詰ルモノデスカラ、ソゴデ
天佑ハ語ルベカラズト云フヤウナ形ガ教育
界ニアルト存ズルノデアリマス、其ノ點デ
何カモウ少シ明瞭ナ御指示ガ得ラレタラバ
ト云フ考デ御尋申上ゲタノデアリマスガ、
私見ヲ申上ゲル必要ハナイカラ此處デハ申
上ゲマセヌ積リデスガ、唯一言ニ之ヲ申シ

マスレバ、文明ハ自然ヲ浪費スルモノデア
ル、文化學術トシテ獨逸ナドガ中心ニナツ
テ致シテ居リマスル考ノ中ニハ可ナリ自然
ヲ征服スルト云フ考ガ強イ、學者個人ガ主
ニナツテ自然ヲ奴隸視シテ居ル點ガ少クナ
イノデアリマス、一番初ニ物ニ付テ御伺ヲ
致シマシタノモ、其ノ點デアリマシタガ、
物タル、自然タル物ハ大キナ纏マツタ進ミ
ヲ持ツテ居ル、此ノ大自然ハ眞ニ敬フベキ
モノデアリ、保育スベキモノデアアル、大自
然ヲ保育シテ參リマスレバ、洵ニ廣大ナル力
ガ現ハレルノデアリマス、即チ我國ハ土地
モ狭ク物資モ乏シイ爲ニ、過去ノ事實ヲ眺
メマシタ時ニ、自然ヲ浪費スルト云フヤウ
ナ生活ニハ向ヒ得ズシテ、此ノ乏シキ自然
ヲ保育スル、天津日ガ總テヲ照シ、傳リ育テ
給ヒシガ如ク、日嗣ノ「スメラミカド」ハ又

常ニ全國ヲ照シ萬民ヲ傳リ育テマシマス、此ノ天日、聖德ヲ戴キマシテ、自然ヲ保育致シマスル所ニ、此ノ土地ナキ日本ニ見ルガ如ク、田畑ガ育チ、百穀ガ稔リ、集約農ガ成立チ、遂ニ斯様ナ時局ニ際シテモ尙ホ食糧ニハ惠マレテ居ルト云フ現狀マデ達シテ居リマス、如何ニ自然ヲ保育スルコトノ浪費生活ヨリモ尊イモノデアリカト云フコトヲ確ニ見ルコトガ出來マス、災變ノ甚シキハ世界ニ冠タルモノデアリマスガ、其ノ各種天災地變ニ試鍊サレマシタルコトガ、却ツテ我が國民ノ奮闘精進ノ力ヲ成シ得タコトデアリマシテ、切レ、ニ見ルト云フコトガ、此ノ大自然ニ對シテノ見方、總テニ對シテノ見方ヲ誤ルモノデアツテ、之ヲ纏マツタ大キナ進ミ、命トシテ見マスルコトニ於テ、如何ナル一角ニ保育ヲ努メマシテモ、全體ノ大生命ヲ全ウスルコトガ出來ル、如何ナル貧シキ者ガ其ノ日ノ勤メニイソシミマスルノモ、天壤無窮ノ皇運、大自然ニ捧ゲルコトガ出來ル、是ハモツト具體的ニ事例ヲ申スコトガ出來マスガ、其ノ事ハ略シマシテ、少シノ間此ノ大自然ヲ保育シテモ其ノ力ガ育ツノデアリマスガ、之ヲ數千年、數万年、連續ニ史の發達ヲシテ居リマスル所ニ、同ジ自然ニハ居リマスルガ、

日本ノミハ大自然ノ纏マツタ力ガハツキリト現ハレテ居ル、實ニ有難イ尊イト云フコトガ、災變ノ中ニモ、缺乏ノ裡ニモ、又極メテ些細ナ物資ノ中ニモ見ルコトガ出來ルト云フヤウナ點ニ付キマシテ、天佑ヲ唯々神ノ御力デアルト云フ一面ノミナラズ、日善惡苦樂ノ生活ニモ貧富一切ノ姿ニモ、直チニ受取ツテ行クト云フコトニ導キマセシケレバ、青年教育ニ於テ、彼等ガ多少合理的ニ解ルヤウニ具體的ナ説明ヲ求メマス者ニハ、不十分デアアルカノヤウニ思ツテ、努メテサウ云フ點ヲ明ニシテ戴キタイト念ズル者デアリマス、兎ニ角色々ニ廣ク考ヘラレル事柄デアリマスカラ、御示シニ依リマシテ一段ト明瞭ヲ加ヘタコトヲ感謝シテ其ノ點ハ終リマス

尙ホ次ニ極メテ日常ニ觸レテ申スコトデアリマスガ、ヤハリ一層明晰ニシテ戴キタイト思ヒマスコトハ、「マコト」ニ關シテデアリマス、「マコト」ガ何方天地ノ外ニ、或ハ天地ノ間ニ別ニ存在スルト云フヤウナ考ヘ方ト、唯「マコト」ハ自分ノ無念無想デアルト云フヤウナ考ヘ方ト、色々ト言フコトデアリマスガ、是レ亦皇道ノ上ニ立ツテ明カナコトデアリマス、ソコデ其ノ「マコト」ヲ説クニドウ云フ方面ニ重キヲ置カレルノデア

ルカ、極メテ簡單デ宜シウゴザイマスカラ、「マコト」ニ關シマシテ伺ヒタイ、ソレカラモウ一ツ御伺フシマスノハ昨日「時」——歴史ヲ通ジテ御尋申上ガマシタ際ニ御答ヲ戴キマシテ、ソレハ別々ニ生キルモノガ相寄ツテ成立ツテ居ルト云フ意味デ御答ヲ賜リマシタ、常識上サウ云フ風ナ考ガアルト存ジマスガ、皇道日本ノ立場カラ、別ニ生キルモノガ相寄ツテ居ルト云フ考ヘ方デ、十分明瞭ト御考ニナツテ居リマスカドウカ、唯御答ヲ戴キマス御言葉ノ中ニアツタダケデアリマスガ、モウ一遍確メテ置キタイト思フノデアリマス、物ガ存在スル場合ニハ別々ニナツテ居リマス、又心ト云ヒマシテモ、心ヲ物ノヤウニ扱ヒマス者ニハ、私ニハ私ノ心ガアルト云フヤウナ考ヘ方ヲ致シマス、最モ明瞭ニ、生キルト云フ姿ハ個々別々デハナイ、斯ウ云フ形トシテモ能ク見エマス、私ガ生キルノニ呼吸ヲスル、動物ガ植物ト相俟ツテ初メテ呼吸ガ出來ルト云フ風ニ、生キル方ニハ大キイ一ツノ生活ガ行ハレルト云フコトガハツキリ致シマス、殊ニ皇道ハ此ノ點ヲ極メテ明瞭ニシテ、本當ニ生キルト云フコトハ全體的、即チ先祖カラ子孫ヲ通ジテ生キル、萬民ガ一君ノ御心ニ生キル、個々ガ生キルノデハ

ナイ、此ノ點ニ著シイ特色ガアルト感ジマス、別々ニ生キルト云フ形、茲ハ自分ノ身ヲ捧ゲルトカ、自分ノ心ヲ殺ストカ、何カ自分ヲ潰シテ行クモノデナイト御奉公ガ出來ヌヤウニ聞エルノデアリマスガ、本當ニ當ニ生キタ時ダト思フノデアリマス、ソレデ別々ニ生キルト云フ風ナ考ヘ方ト、一ツノ大キナ御命、即チ祖先カラ子孫ヘ傳ハル此ノ御國ノ命、此ノ中ニ生キテ行ク、ソレガ一ツノ生キテ居ル、一ツノ葉モ花モ皆一本ノ草、一本ノ木ノ生キル中ニ生キテ居ルノデアル、サウ云ツタヤウナ別々ニ生キテ居ルモノガ寄り合ツテ居ルト云フコトト、一ツノ大キナ命ノ中ニ生キテ居ルト云フコトノ考ヘ方デハ、皇道ノ考ヘ方ハ一ツノ大キナ命ノ中ニ生キルト云フ方ガ能ク解ルシ、又ソレガ正シク思ヘルノデアリマスガ、ドチラニ重キヲ置クノデアリマスルカ、此ノ點確メテ承ツテ置ケバ結構ダト思ヒマス

○荒本國務大臣 第一ノマコトノ問題ト、第二ノ個々ノ生命ト天地ノ生命ト殆ド一貫シタ問題ト私存ジマスルガ、「マコト」ハ天地自然ノ姿其ノモノガ「マコト」デアル、斯ウ存ズルノデアリマス、天地自然ガ即チ「マコト」其ノモノノ姿デアリ、個々ニ生キル個

人ガソコニ至リマスル時ニ、天地自然ノ姿

其ノ儘、即チ自己ノ姿其ノ儘ヲ無理ナク現ハ

ス所ニ「マコト」ガアルノデアリマス、即チ

吾々ト致シマシテ帝國ノ臣民トシテノ姿ヲ

其ノ儘ニ總テニ現ハシテ行クコトガ、個々

ノ「マコト」ヲ履ム道デアル、而シテソレガ

天地ノ自然ニ合スル所ニ「マコト」ガ生キテ

行クノデアリマシテ、天地自然ノ儘ノ姿、

ソレニ少シモ無理ガアツテハナラヌ、即チ

萬民處ヲ得セシムル、總テノモノガ其ノ處

ヲ得テ、更ニ擴大シテ天地ガ其ノ處ヲ得セ

シムルト云フ自然ノ姿コソ、私ハ「マコト」

ノ姿ト存ジマス、ソコヲシツカリ體得ヲ致

シマスレバ、我國ノ皇道、我國ノ肇國、我

國ノ成立チト云フコトモ自ラ分リ、之ニ増

シタ國柄、教ヘ柄ガナイ所ニ我國ノ強サガ

アルノデアツテ、「マコト」ヲ履ムコトガ即

チ皇道ヲ履ムコトデアル、個々ノ「マコト」

ヲ盡スコトガ天地自然ノ「マコト」ヲ盡スコ

トデアル、茲ニ昨日モ申上ゲマシタヤウ

ナ、一物ト雖モ決シテソコニ無理ガアツテ

ハナラナイ、自我ガアツテハナラナイト云

フ所ニ「マコト」ガアル、斯ウ云フ風ニ私モ

考ヘテ、吾々ノ道ヲ履ミ、帝國ノ臣民トシ

風ニ存ジマス

第二ノ問題モ丁度同ジコトト存ジマシテ、

生命ハ天地ノ悉クノ生命デアツテ、「マコト」

ガ天地一貫シタ天地自然ノ姿デアルト同ジ

ヤウニ、天地總テガ一ツノ生命デアツテ、

是ガ個々ニ現ハレテ參ル時ニヤハリ個々ノ

生命トシテ、天地ニ通ズル個々ノ生命トシ

テ、吾々ハ茲ニ其ノ生ヲ過サネバナラスモ

ノデアル、其ノ道ヲ履マネバナラスモノデ

アル、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○維尾委員 色々御伺ヲシテ御答ヲ賜リマ

シテ有難ク存ジマシタ、初メニ申上ゲマシ

タヤウニ、全體ノ教育トシマシテモ、特ニ青

年ノ教育トシマシテハ、我國ノ理想即チ道

トシテ、皇道ヲ成ベク現實ニ觸レテ今行フ

所ニ現ハサセルト云フコトガ極メテ大事デ

アリマス、サウ云フ點カラ結局ハ中心問題

ニナルト云フ考デ、是等ノ點ニ付テ御伺ヲ

申上ゲタノデアリマスルガ、幸ニ是等ヲ説

キ明サレマシテ、サウ云フ立場カラ見マス

ルト、昨日モ一寸觸レマシタヤウニ今マデ

ノ學校ノ教育、教授ノ内容ハ、サウ云フコ

トトハ著シク方向ガ違ツテ居ル、同ジ自然

ヲ扱ヒマシテモ、物ナリ心ナリ個々一ツ

トガ非常ニ蔑ロニナツテ居リマス、ト云ツ

テ日本ハ優レテ居ル、日本ハ立派ナ國體デ

アルト、超越的ニサウ云フコトバカリ與ヘ

タノデハ又是モ入りニクイノデアリマスカ

ラ、ドウシテモ物心一如デ、物ノ上ニ精神

生活ガ認メラレ、精神生活ハ又必ズ肉體ナ

リ仕事ナリ物ノ上ニ見テ行カネバナラス、

サウシテ各人ノ今爲シマスコトガ無窮ノ國

運ニ捧ゲルコトデアツテ、世界ノ發展ヲ爲

ス所以デアルト云フ點ニ付キマシテ、段々

問題ガ起ツテ居リマスカラ、國體ノ本義モ

發表ニナリマシタシ、サウ云フ皇道精神デ

屢、指導ヲ與ヘラルルノデアリマスガ、ヤ

ハリ大學研究ノ中心カラ、其ノ點ハ大イニ

改メテ行カナケレバイカスト思フノデアリ

マス、其ノ事ニ付キマシテハ、此ノ間名古

屋帝國大學ノ問題ノ委員會デ私ハ一寸申シ

テ置イタノデゴザイマスガ、今日アリマス

ル東京初メ各帝國大學ノ改善ト云フコトハ

頗ル大事ナコトデアリマスケレドモ、サウ

云フヤウナ點ヲ方向ヲ變ヘテ成シ上ゲルト

云フコトハ中々困難デアリマスガ、今回新

ニ建チマスル名古屋帝國大學ニ付テハ、特

ニ大臣カラ十分ニ御配慮ヲ賜リマシテ、斯

メラレタイト思フノデアリマス、ソレハ延

イテ各大學ノ改メ方ニ確ニ力ガアルノダト

存ズルノデアリマス、同様ニ高等學校ノ教

育ガ、斯ウ云フ方面ニ於テノ青年精神ヲ養

ヒマスルニハ一番大事ナ時期デアリマス、

然ルニ高等學校ハ全然無視シテハ居リマセ

スガ、サウ云フ方面ニ十分ナ事ヲシテ居ル

トハ言ハレマセヌ、高等學校ニ之ヲ進メラ

レマスルコト、即チ彼等ノ青年學の良心ト

相俟ツテ斯ウ云ツタ問題ガ考ヘラレテ行キ

マスルコトハ、必ズ非常ナ力強イモノニナ

ルト存ジマス、先年亦化ハ之ヲ逆ニ行キマ

シタガ、彼等ノ學の良心ニ一番近イモノハ

物的個在ノ行キ方ニ行クノダ、神モナケレ

バ理想モナイノガ本當ダト云フ所ニ落チテ

行キマスノガ、多クノ青年ヲ過ツタノデア

リマス、ソレハ兎ニ角、學生ガ青年學の良

心ガ燃エ立ツテ居タカラデアリマシテ、導

キ方ガ惡カツタニ過ギヌノデアリマス、今

後ハ殊ニ力ヲ入レテ、高等學校ノ青年學の

良心ノ満足スルヤウナ國體、皇道精神ヲ十

分ニ鼓吹シ、又彼等ガ文科タルト理科タル

トヲ問ハズ、各ノ進ンデ行キマスル方面ニ

其ノ道ヲ明ニスルコトガ大事ダト云フコト

マス、社會ノ中堅ニナリマスル高等學校ヤ大學ノ青年ガ何ヲ望ンデ行クカト言ヘバ、醫者ハ汚イ厭ナ仕事ダケレドモ儲カルカラ……法科ノ方ガ賣レガ宜イカラ……斯ウ云フコトデ動イテ行ク間ハ、是ヨリ知識ノ低イ、教育ノナイ者ニ、却ツテ道心、皇道ノ氣持ヲ求メナケレバナラスト云フ現狀ニナツテ居ルノデアリマス、是ハ過チデアツテ、高等學校ヤ大學ノ方面ニ先ヅ模範的ノ進ミ方ヲサセルヤウニ相當努力スル必要ガアルコトト存ジマス、サウ云フコトニ致シマシテ、初メテ一般ノ青年モ做ツテ行クコトガ出來ルノダト存ジマス、廣イ意味ノ文科デ、文學部ヤ、經濟學部ヤ、法學部ノ方ニハ色々缺點ガアルガ、理科ノ方ニハ缺點ガナイ、實科ノ方ニ缺點ガナイト云フコトハ是ハマダ深ク考ヘザルモノデアアル、實科ノ方ニ大キナ缺點ガアリマス、同様ニ農村ナリ、教育ノナイ青年ノ方ガ純眞デアツテ、教育ノアル方ガ惡イト云フヤウナ形ニナツテ居ツタノデハ、是ハ正シイ教育デナイト言ハナケレバナリマセス、ドウシテモ教育ノ行ハレマスル方ニ其ノ根本ヲ培ヒ、其ノ培ハレタモノガ各、分擔シマスル學部、學科ノ上ニ現ハレテ來ルヤウニ有ユル御努力ヲ煩ハシタイト存ズルノデアリマス、サ

ウシテソレカラ進ミマシテ一般青年ノ指導力ガ愈々充實スルノデス、ソレハ幾多ノコトヲ申シマスルガ、本當ニ此ノ皇道國體ノ精神ガ教育サレテ居リマセヌカラ、甚ダ曖昧ナコトヲ以テ青年ヲ指導シテ居ル場合ノ方ガ多イト存ジマス、熱意ハソレムアリマスルシ、體育其ノ他ノ方ノ訓練ハ相當ノ力ガアルト存ジマスケレドモ、眞ニ御國ノ優レタ力ヲ心膽トシ、氣力トシテ動イテ行クト云フコトハ十分デナイ、偶、アレバ過去ノ優越、肇國ノ古ノ尊サヲ論ジマシテ、今日ソレガドウナルベキカ、殊ニ此ノ國際情勢ニ對シマシテドウ優レテ居ルカ、如何ニ指導スベキカト云フコトガハツキリ致シマセヌデハ本當ニ青年ノ胸ニ落チルモノデハナイノデアリマス、其ノ青年ノ胸ニ落チナイ場合ニ、感激ヲスベキ事項ヲ以テ指導致シマス、感激ハ非常ニ大事ナコトト存ジマス、尊イコトト考ヘマスケレドモ、感激ヲ高メマスルト一時高潮致シマス代リニ、是ガ冷メテ參リマシタ時ニハ却ツテ反動ニ陥ルノデアリマスカラ、感激ヨリハヤハリ堅實ナ理智ノ上ニ青年ヲ導カレテ行クト云フコトガ重大性ヲ持ツテ居ルノデアリマス、偶然ノ事實ニ依ツテ動カサルヨリハ、幾千年ヲ貫ク歴史ノ確實性ヲ以テ導クコトガ尊イト

存ジマス、サウ云フ意味ニ於キマシテ、青年團ノ團令トカ、色々ト昨日田子サンカラ御話モアリ、サウ云フコトモ極メテ必要ト存ジマスルガ、其ノ内面ニ盛ラレマスル斯ウ云ツタ點ヲ一ツ十分ニ御考慮ヲ賜リマシテ、青年指導ノ根本方針ヲ明ニシマシテ、青年ガ國際情勢ニ對シテ如何ニ進ンデ行クベキカト云フコトガハツキリシマスレバ、ソレ以下ノ幼年ノ教育モソコヘ向ツテ行クコトハ明瞭デアリマス、將來ノ國ノ進ミ方ハ、此ノ根本ノ問題ニ付テ段々重キヲ置イテ居リマスルケレドモ、ソレ以上ニ重キヲ置イテ十分ニ、行キ過ギル位ニ明白ニシテ宜イコトダト思ヒマス、サウ云フ風ニシテ日本ノ尊イコトヲ自覺シ、同時ニ各自ガ非常ニ謙虛ナ、敬虔ナ態度ヲ以テ今日ノ任務ニ邁進シ得ルコトト存ジマスルノデ、サウ云フ點ニ付キマシテ文相ガ特ニ御努力ヲ賜リマスコトガ、從來ノ系統教育ノ中ニ、或ハ從來ノ文部省ノ型ノ中ニ、新シイ肉ト血トヲ與ヘルモノデアルト思ヒマス、又東亞ノ新秩序建設ヲシテ行ク根本ハ竟ニ國民ノ教育デアリマシテ、國民ノ教育ハ此ノ力ヲ充實スルコトデアリ、有ユル點カラ見マシテ一段ト國家ノ力ガ此ノ方面ニ充實スルヤウニ御努力ヲ願ヒタイノデアリマス、之ヲ

完ウシテコソ、度々大臣ノ仰セニナリマシタハ統一ノ眞ノ充實ガ出來ルト存ジマス、ソレニハ教育ノ重大性ニ顧ミテ、教育ト云フコトニハモツト當局ハ勇氣ヲ出シテ進ンデ行カレテ宜イノダト思フノデアリマス、凡ソ困難疲弊ノ場合ニ於キマシテモ、先ヅ力ヲ教育ニ入レタナラバ必ラズ補ツテ餘リアルコトト存ジマス、若シ困難デアリ疲弊ジテ參リマシタナラバ、何時マデ經ツテモハ滿サレルコトガナイト思フノデアリマス、或ル場合ニハ産業發達ノ爲ニ金ガ要ル、道路改善ノ爲ニ金ガ要ル、又今日ノヤウニ軍事ノ爲ニ金ガ要ルカラト云フコトデハ、始終國費多端ト云フコトニ依ツテ、結局國ノ本當ノ發達ヲ後廻シニスルコトニナルト存ジマスカラ、モツト教育ニ使フベキ費用ナラバドン／＼使ツテ充實スルト云フコトヲ、勇氣ヲ出シテ御主張ガ願ヒタイト存ズルノデアリマス、又國民個々ト致シマシテモ、奢侈餘裕ノ生活ヲスル者ハ別ト致シマシテ、切詰メタ生活ヲスル者ハ別ト致シマシテ、費用ヲ入レテ居ルノハ教育デアリマス、又教育ノ良クアルコトニハ有ユル犠牲ヲ忍ブコトヲ辭セスノデアリマスカラ、國家ノ教育ノ方ニ多大ノ費用ヲ取ツテ就學ノ便宜ヲ

圖リ、向學ヲ容易ナラシムルコトハ感謝コソ致セ、決シテ不平ナドハ起ラヌト存ズルノデアリマス、此ノ教育方面ニモツト費用ヲ入レテ、貧シキ大衆マデモ本當ニ教育ヲ受ケラレルヤウニ一段ト御盡力ヲ煩ハシタイ、教育ノ重大性ト云フコトハ今更私共ガ申上ゲルマデモアリマセヌケレドモ、特ニ此ノ青年教育ヲ中心トシテ一大革新ヲスル必要ガアリ、一大作興ヲスル必要ガアルト信ジマスノデ、一段ノ御奮勵ヲ願フコトヲ以テ私ノ質疑ヲ終リマス

○野村委員長 河上君

○河上委員 大キナ戰爭ガアリマシタ後ハ、歴史ノ示ス所ニ依レバ思想ノ變化ガ起ル、惡變デアアルカ良變デアアルカハ別デアリマスガ、少クトモ吾々ガ今日歴史ヲ顧ミルト、大戰爭ガアツタ後ハ大概思想ニ變化ガ起ツテ居ル、是ハ私ハ已ムヲ得ヌト思フ、平生ハ政治ニ關シテハ路傍ノ人トシテ、殆ド關心ナキ國民ガ、國ヲ賭シテ戰フ時ニハ、物ニ於テ、精神ニ於テ、サウシテ肉體ニ於テ犧牲ヲ拂ツテ參加シ、サウシテ其ノ結果ニ對シテハ自分等ノ身體、自分等ノ財産、是ガ國ノ政治ノ結果起ツタ戰爭ト非常ニ深イ關係ガアルト云フコトヲ深刻ニ知ル、其ノ結果或ル場合ニ於テハ民主々義ト申シマス

ルカ、民意ヲ尊重セヨト云フ論ガ起ツテ來ル、或ル場合ニ於テハ左様ナコトデハイカスカラ寧ろ專制ニ、一人ノ人ノ力ノ下ニ統一シテヤル方ガ宜シイ、兎ニ角左右、若クハ民主、統制等ノコトガ、種類ハ違ヒマスルガ起ル、我ガ日本ニ於テ此ノ大事ナ聖戰ノ結果惡變スルトハ思ヒマスセヌケレドモ、私共政治家トシテ痛感スルコトハ、若シ私共ガヤツテ居ルコトガ、アノ犧牲ヲ拂ツテ居ル國民、殊ニ戰地ニ於ケル人々ノ感じニ於テ、吾々ガ怠慢デアリ、若クハ缺點ガアルト云フヤウナコトヲ感じサストキニ、陛下ノ國民ニハ惡影響ハナカラウト信ジマスルケレドモ、變化動搖ガアルカモ知レヌ、サウ云フ際ニ於テ、青年大衆ノ教育デアアル青年學校ニ力ヲ入レラレルコトヲ私ハ實ニ感謝スル、又多年私ハ感謝シタコトデアリマシタ、ソレニ付テ私ガ考ヘタイコトハ、文部省ノ社會教育——社會教育トハ何カ、是ハ前ニ文部省デ社會教育調査會ノトキニモ問題ニナツタノデアリマスルガ、社會教育ト云フ言葉ハ、私ハ學問的ト言ヒマスカ、何カサウ云フ専門語デハナイヤウナ氣ガスル、恐ラク日本ノ人ノ通俗ノ言葉、即チ學校以外ノ教育、君等ハ社會教育ガ足ラストカ、社會教育ヲシナケレバイカストカ

言フコトヲ其ノ儘用ヒタノデハナイカト思フノデアリマス、私共ガ考ヘテ居リマス社會教育ノ定義——若シ定義ト云フ名前ガ付カナイナラバ觀念ハ、私ハ社會教育ト云フモノハ、國民教育ト謂ハレデ居ル小學教育ヲ受ケタ以後ノ、吾々モ其ノ教育ノ對象物トシテ、國民訓練ヲ爲ス教育デハナイカ、例ヘバ勞働者ニ技術教育ヲスル、若シ茲ニ機械ヲ動スコトヲ教ヘルダケナラバ、私ハ職能教育ト思フ、併シナガラ同ジ機械ヲ動カス教育デモ、其ノ時ニ、機械ソレ自身ヲ動カス此ノ機械ノ作用ガ如何ニ國家ニ影響スルカ、隨テ此ノ機械ノ操作ニ付テハ國家的ニ、自分ノ國家ニ對スル關係ヲ考ヘテ行クヤウナ風ニ教ヘテ行クトキニ、初メテ社會教育ノ意義ヲ成スノデハナイカ、斯ウ思フノデアリマス、隨テ或ル場合ニ於テハ、昔ノ實業補習教育ノヤウナモノデナクシテ、職業教育以外ニ、目先ノ自分ノ生活ヲ豐富ニシ、樂ニスル以外ニ於テ、或ル場合ニ於テハ文學モ教ヘ、歴史モ教ヘ、非常ナ高イ眞理ノアル所ヲ平タク教ヘル、サウシテ其ノ人間ヲ國民トシ又個人トシテ、豐富ナル内容ヲ持つテ居ル人間ニ育テ行ク、併シ如何ナル場合ニ向ッテモ國民トシテ訓練ガ土臺デナケレバイカス、斯ウ思フノデアリマス、過去ニ於テハ小學

校教育ヲ國民教育ト言ツテ居ルケレドモ、私ハサウデナクシテ、小學校教育ハ國民教育ノ基礎デアアル、社會教育局ガ取扱フ所ノ對象物ハ、例ヘバ茲ニ荒本文相ガ、私ノ專門以外ノ現實ノ日本ノ情勢ニ即シテ戰爭ノコトニ付テ御教ヘガアル、是ハ私自身ハ軍人デモ何デモアリマセヌケレドモ、日本國民トシテノ大事ナル修養トシテ私ハ社會教育ヲ受ケテ居ルモノト思フ、斯ウ云フ意味カラ言フト、私共ガ社會教育局ヲ作ルベク努力シ、又出來テ來タ時ニ期待致シテ居ツタ考ハ、文部省ノ他ノ局全部——全部ト云フコトガ語弊ガアリマシタナラバ專門トカ、普通トカ、實業ト云フモノニ對シテ全部ト、文部省ノ社會教育ガ對立、——對立ト云フ言葉ガ惡ケレバ、對立以上ノ大キナ仕事ヲ持チ任務ヲ持つテ居ルモノト私ハ考ヘテ居ル、私ハ其ノ點ニ付テ、他日又個人的ニ御話申上ゲル機會ガアルト思ヒマスガ、隨テ其ノ仕事ト云フモノハ普通ノ局、丁度内務省ノ社會局ガ發展シテ厚生省トナツタ、アア云フ風ニ分類スルコトハ必要アリマセヌシ、又シテハイケマセヌガ、其ノ對象ノ目的カラ言ヘバ、其ノ仕事ノ性質カラ言ヘバ、ソレ程ノ考ヲ持つテ行カナケレバナラヌデハナイカト私ハ思フ、其ノ點ニ付テ今恐ラク

旨クヤツテ居ラレト思ヒマスケレドモ、日本ノ現實ニ於テ、更ニ今後起ツテ來ル日本ノ狀態カラ言ヘバ、私ハ青年大衆、其ノ青年期ヲ脱シタ吾々ノ如キ大衆ニ對シマシテモ、大イニ私ハ國民訓練ノ必要ガアルト思フ、單純ニ國民訓練ト言フト、青年訓練ノ如ク團體行動ノヤウデアリマスケレドモ、國民個々ノ内容ガ豐富ニナルコトハ、國家ガ良クナルコトデアリマスカラ、サウ云フ意味ニ於テ私ハ仕事ヲ非常ニ多クシナケレバナラスシ、又力ヲ入レナケレバナラス、恐ラク其ノ意味デヤラレテ居ルト思ヒマスケレドモ、私ハ更ニ具體的ノコトヲ伺フマデモアリマセヌガ、一段ノ力ヲ入レテサウシテヤツテ行カレル所ノ御考ガ有ルカ無イカ、無ケレバヤルヤウニシテ戴キタイ、之ヲ一ツ御伺致シマス

○荒本國務大臣 一般ノ社會教育、廣義ニ於ケル社會教育、此ノ必要性ニ付キマシテハ、只今御述ニナリマシタ如ク吾々モ學校ノミニ教育ニアラズシテ、各方面ノ教育ガ國民ノ最後マデヲ通ジテナケレバナラス問題デアル、即チ校外ノ施設、詰リ社會教育ノ施設ト云フモノヲ十分ニシ、更ニ社會教育其ノモノニ、今御話ニナリマスヤウニ一ツノ生命ヲ與ヘテ行ク、單ニ職能教育デア

リ、單ニ經濟教育デアリ、自己ノ職能ヲ増進スルトカ、或ハ經濟的ニソレガ良クナルトカ云フコトノミナラズシテ、大キナ意味ニ於テノ社會教育トシテ、帝國ノ臣民トシテノ最後ノ完成マデ進ムベキ施設トシテ存シナケレバナラスト云フコトヲ痛感スルノデアリマス、是等ニ付キマシテハ社會教育局ノ擴大強化モ、他ノ機會ニ於テ承ツタコトモ相當度々アツタノデアリマスガ、更ニ充實シマシテ、此ノ方面ニ對スル教育ヲ眞ニ意義アラシムルヤウニ致シマシテ、同時ニ只今椎尾委員カラモ御話ガアリマシタ如ク、科學ノ問題ニ、或ハ個々ノ問題ニ偏セズシテ、總テノ教育ニ一ツノ大キナ生命ヲ與ヘテ行ク、帝國ノ臣民トシテ生命ヲ與ヘ、モット大キナ意味ニ於ケル人トシテノ生命モ與ヘ、更ニ我國ノ古カラ將來ニ亙ル日本臣民トシテノ永イ生命ニ對スル覺悟ヲ與ヘルト云フヤウナコトニ、兩者相俟ツテ進ムコトガ必要デアル、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ル次第デアリマシテ、ソレハ其ノ擴大強化ニ對スル具體方法モ研究ヲ始メントシツツアル次第デアリマス、以上御答致シマス

○河上委員 モウ一ツ、斯ノ道ノ權威者ノ椎尾先生カラ昨日色々御話ガアリマシタ、若シ重複スル所ガアリマシタ御遠慮ナク仰シヤツテ下サレバ私ハ止メマス、私ガ最近文部省ノ或ル所デ、教育勅語ノ中ノ之ヲ古今ニ通ジテ譯ラス之ヲ中外ニ施シテ悖ラス之ヲハツキリシナケレバイカヌト云フコトガ問題ニナツタコトヲ聞キマシタ、私ハ決シテ教育勅語ヲ御批判申上グル譯デハアリマセヌガ、私ノ如キ者カラ見レバ、「忠孝」ト云フ言葉ハ支那ノ本ニモ昔カラアル、他ノ國デモ言ツテ居ル、併シ日本ノ教育勅語ノ中ニ現レテ居ル「忠孝」ハ、古今ニ通ジテ譯ラス、中外ニ施シテ悖ラザルモノデアルト云フコトニ於テ、文字ハ同ジデアツテモ私ハ非常ニ意義ガ深イト思フ、殊ニ其ノ教育勅語ノ一番初メニ「國ヲ肇ムルコト宏遠ニ德ヲ樹ツルコト深厚ナリ」トアリ、サウシテ終ヒニ「之ヲ古今ニ通ジテ譯ラス之ヲ中外ニ施シテ悖ラス」トアルハ、是ハ實ニ有難イ教デ、之ヲハツキリスルト云フコトデナケレバイカヌト私ハ考ヘテ居ル、私ノ如キ淺學ナル者カラ見レバ、之ヲ自分デ考ヘテモ、明治大帝ノ仰セノ意味ガハツキリ分ツテ居ルト云フ譯ニハ行キマセヌガ先ヅ斯ウデアラウト云フマデニハ、十年位私ハ考ヘテ見タノデアリマス、ソコデ其ノ點ニ付テ私ハ今此處デ烏滯ガマシク申上デマセヌ、私共ガ言フコトデナクシテ、他ニ

其ノ道ノ方ガアルカラ差控ヘマスガ、私ハサウ云フ點ニ付テ、殊ニ思想問題ニ付テ考ヘ方ヲ斯ウ云フ風ニ考ヘテ見タノデアリマス、古今ニ通ジテ譯ラス、中外ニ施シテ悖ラザルモノハ天地自然ノ大理シカナイ、如何ナル偉イ人間ガ作りマシテモ、天地自然ノ大理ヲ知ツテ作り出セバ、古今ニ通ジテ譯ラス、中外ニ施シテ悖ラザルモノガ出來ルカモ知レマセヌケレドモ、個々ノ人間ノ知識ノ力、是等ハ高ガ知レテ居ル「バイロシ」ノ言葉ヲ藉リテ言ヘバ、大海ノ水ヲ一ツノ柄杓デ掬ウタ位シカナイ、私ハドウシテモサウ云フ上ニ於テ日本ノ國體、皇道、惟神ノ道、神ニ從ツテ神自ラ其ノ中ニ在リト云フコトハ、ドウシテモ自然ノ大理ヲ一ツ考ヘナケレバナラス、所謂社會科學ノ本ヲ讀ミ、講義ヲ聽ク以外ニ、自然科學ニ於テ教ヘラレル所ガナケレバナラス、サウシテ初メテ吾々ノ僅カナ知識ノ中ニ於テ之ヲ説明シ得ルモノデアルト云フコトデ、幾分カ興味ヲ若イ時カラ持ツテ、自然科學、殊ニ「ナチュラル・ヒストリー」ヲ讀ンデ見タノデアリマス、其ノ中ニ「フアーブル」ノ昆蟲記ヲ讀ミマシテ、實ニ私ハ感動シタノデアリマス、又儒教ノ中庸ニ「天ノ命之ヲ性ト謂ヒ、性ニ率フ之ヲ道ト謂ヒ、道ヲ脩ムル之

ヲ教ト謂フ」トアリマスガ、サウ云フコトモ「フアーブル」ノ昆蟲記ニ就イテ見レバ實ニ能ク分ル、ヨク宗教情緒云々ト云フヤウナコトヲ教育界デモ言フシ、或ハ思想問題ヲヤルニ付テハドウモ自然科学、物質教育ガ多過ギテ困ル、ダカラ寧ロサウ云フモノヲ減シテ歴史ヤ何カヲナケレバナラヌト云フ聲ガ度々聞エルノデアリマスガ、私ハサウハ思ハナイノデアリマス、私ハ寧ロ自然科学ノ教育ヲモウ少シヤツテ貰ヒタイ、唯今マデノヤリ方ニ付テ、此ノ點ニ於テ特ニ考ヘテ戴キタイト思フ、一體自然科学ニ對スル考ヘ方ガ間違ッテ居ル、細カイ事ハ私ハ専門家デアリマセヌカラ申上ゲマセヌガ、私ガ文部省ニ僅カ御厄介ニナツテ居リマシタ時ニ、斯ウ云フ話ヲ聽イタ、信州ノ或ル學校デアリマシタガ、圖案ノ教育ヲシテ居タ、人ノ描イタモノヤ何カヲ机上デ描カセテ見タガ、中々先生ガ感心スルヤウナモノガ出来ナカッタ、所ガソレヲ野ニ在ル花、畑ニ在ル花ヲ見テ描ケト言ツテヤラセタ時ニ、先生サヘモ驚クヤウナ立派ナ圖案ガ出来テ來タト云フ、私ハ常ニ若イ者ニ言フ、日本ニモ偉イ人ガリマスケレドモ、二宮尊徳先生ノ傳記ヲ讀ミ、其ノ哲學ノ本ヲ讀ンデ見タ時ニ、下

手ナ本ヤ下手ナ教ニ依ツテ聽クヨリモ、自然ニ接觸シテ、自然ト相對シテ自然ノ力ヲ受ケテソレヲ體得シタ時ニ、高クテ深クテ、吾々ヲ感化シナイモノハナイ、美術家ガ澤山ノ繪ヲ描ク、併シナガラソレハ自然ノ或ル部分ヲ吾々ニ傳ヘルダケデアツテ、如何ナル學問ニ觸レルト雖モ自然其ノモノニ優ル程ノモノハナイ、景色ヲ見ルト文士ハ、ヨク繪ヨリモ美シイト言フ、繪ヨリモ美シイノガ當然ノ話デアリマス、此ノ點ニ於テ私ハ非常ニ色々考ヘテ居リマス、例ヘバ孔子ノ言ウテ居ル中ニ、孔子ガウルサイ弟子ニ對シテ面倒クサイト思ツタノカモ知ラヌガ、「予言フコト無カラント欲ス」ト「天何ヲカ言ハンヤ、四時行ハレ、百物生ズ、天何ヲカ言ハンヤ」ト言ツテ居ル、二宮先生ハソレヲ直グ了解サレテ「音モナク香モナク常ニ天地ハ書カザル經ヲ繰返シツツ」斯ウ言ハレテ居ル、其ノ通りデアル、若シ自然ト云フモノヲ分析的ニ見ルナラバ、今ノ自然科学ノ方ノ物質教育デアツテ、自然ノ教育ガナクナルカモ知レナイ、サウデナクテ、自然ノ全體ニ對シテ、吾々ガ眼ヲ開イテ見ル時ニハ、大キナ思想ト云フモノハ大概自然カラ來テ居ル、釋迦ハ婆羅門ノ講義ヲ聽イタケレドモ嫌ラズ、師匠ヲ拔キマシ

テ菩提樹ノ下ニ自然ト相對シテ、自然カラ「インスピレーション」ヲ得テ、初メデアノ大藏經ハ出来タ、基督ガ山上ノ垂訓ヲスル時、或ル期間基督ガ曠野ヲ彷徨シタト云フコトハ、人ヨリ去ツテ自然ト相對シテ見タノデハナイカ、日蓮上人ガ最後ニ南無妙法蓮華經ヲ唱ヘ始メラレタ時モサウデアリマス、サウ云フ點カラ云ヒマス、物ノ見方ニ於テ東洋ノ思想ト云フモノハ分析的デナクシテ、一見分リニクイヤウダガ、味ヘバ味フ程深タ、古今ヲ通ジテ謬ラスモノガアルデハナイカト私ハ思フノデアリマス、例ヘバ物ノ見方デアリマスガ、花ヲ見テモサウデス、曾テ私ガ倫敦ヘ行キマシタ時ニ、非常ニ大キナ花ガアツタ、是ハ何ダト聞イタラ、是ハ日本カラ持ツテ來タ菊ダト言フ、然ルニ吾々日本國民カラ見レバ、菊ヲ作レバ、根カラ上マデ自然其ノモノヲ全體トシテノ菊ヲ見ルコトヲ樂ム、所ガ向フノ者ハ切ツタ花ダケヲ樂ムカラ、同ジ菊ヲ見テモ自然カラ受ケル感化ト云フモノハ非常ニ違フノデアリマス、其ノ點カラ云フト、盆栽ハ先輩ガ遺シテ呉レタ無限ノ吾々ニ對スル良イ教材デ、日本國民ノ思性其ノ他ヲ高メルノニ非常ニ私ハ有難イモノデハナイカト思ヒマス、物ノ見方ト云フモノガ自然全

體ヲ見テ、サウシテ其ノ自然ガ吾々ニ教ヘルコト位正シク、偽ラズ、親切デアリ、サウシテ倦マザルモノハナイト云フ意味カラ、私ハ自然科学ノ教育ヲシテ戴キタイ、例ヘバ——コジツケヲ言フヤウデアリマスガ、成程無常ト云フコトヲ言フケレドモシツクリ肚ニ入ラナイ、電氣ノ「イオン」說デハ物質ハ何時デモ動イテ居ルノデハナイカト説明シテ、サウシテ無常ヲ言フ時ニ、一ツノ「ナチュラル・サイエンス」ノ中ニ、一番浮世離レガシテ居ルヤウナモノカラ吾々ハ宗教心ノヤウナモノガ出テ來ルシ、道德モ出テ來ルヤウナ、社會科學ノ教育ノ一番深遠ナモノガアルト私ハ思フ、ソレヲ唯「イオン」ハ「イオン」——例ヘバ若シ此處ニ子供ガ居ツテ、「ダーウイン」ノ進化論ヲ私ガ説明スルトスル、若シ子供ガ知識ガ高クテ、何故進化論ハイケナイカ聞カレタラ言ヘナイ、「フアーブル」ノ昆蟲記ヲ讀ンデ、何故「インスチンクト」ト云フモノガナケレバナリマセヌカト眞剣ニ質問サレタラ行詰ツテシマフ、吾々ハ吾々以上ノ或ル力——或ル人ハ之ヲ自然ノ原則ト言フカモ知レナイ、或ル人ハ神ト言フカモ知レマセヌガ、私ハサウ云フ風ニ自然科学ト云フモノノ教ヘ方、導キ方ニ依リマシテ、非常ニ社會科學ニ對シテ興

味ヲ惹クダケノ方法ガ出來ヤシナイカト思フ、徒ニ譯ノ分ラナイ御説教ヲスルヨリモ、私ハ寧ロサウ云フ方法ニシタ方ガ宜イデハナイカ、特ニ私が考ヘマスコトハ、農村教育ヲヤル時ニ能ク考ヘネバナラスコトハ、唯百姓ニ米ヲ作レ、或ハ質素ニシロ、サウ云フコトダケデハ百姓ノ子供ハ押ヘラレマセヌ、寧ロ都會ノ人ヨリモ希望ヲ持チ、元氣デ、サウシテ向上心ヲ持ツテ行ケ、サウ云フコトノ爲ニハ、田舎ノ進シデ來テ居ル青年ヲシテ眞ニ農村生活ノ有難イコトヲ知ラシメル、都會ノ人ハ春夏秋冬其ノ他自然ノコトヲ見得ナイ、オ前等コソ一番良イ、親切ナ教師ノ前ニ居ルデハナイカ、サウ云フ頭デモノヲ考ヘ、其ノ頭デ若イ者ヲ感化シテ行ク、サウスレバ學校ニ行カナクテモ、本ヲ讀マナクテモ、自分ハ農村青年デアルト云フ誇リト自尊心ヲ持チ得ルト思フ、其ノ間ニ所謂健全ナル思想ヲ持ツ、將來國家ヲ擔ツテ行ク中心トナリ得ル、唯百姓ダカラオトナシクシロ、檻縲ヲ著テ居レ、サウ云フコトデ進ンデ行ク場合ニハ教育出來ナイ、餘リ屁理窟ヲ言フヤウデアリマスカラ簡單ニ言ヒマシガ、私ハサウ云フ點カラ申シマシテ、古今ニ通ジテ謬ラズト云フ教育勅語ノ中ノ御言葉ト云フモノハ、例ヘバ義

ハ君臣、情ハ父子ノ如クデアル、併シナガラソレニ近イ、或ハソレ以上デアルカモ知レヌト思ハレル言葉ガ支那ノ昔ニアル、書經ノ舜典デアリマスカ、ソレニ書イテアル、ケレドモ向フノ方ノハ、本當ノ親子ノ情ノ如キモノヲ以テ政治ヲヤレバ宜イト云フコトヲ研究シテ出來タモノデ、私ハソレハ王道政治ト云フヨリモ哲人政治デアルト思フ、皇道政治ト云フモノハ哲人ガ考ヘ出シテ來タ其ノ基ダ、即チ自然其ノ儘ダ、一番簡單デアアルカモ知レヌガ、一番深ク、一番純粹デアアル、此ノ政治ヲ以テ亞米利加ノ大統領ガ政治スル時ニ、亞米利加ノ大統領ノヤルコトハ實ニ立派ナモノトナル、サウ云フ意味ニ解シテコソ、古今ニ通ジテ謬ラズ、中外ニ施シデ悖ラズトカ、或ハ八紘一字トカ、色々言ヒマスケレドモ、下手ニ解釋スルト、例ヘバ、陸軍ノ或ル「パンフレット」ヲ見ルト、戰ハ總テノ進歩ノ母ナリト書イテアル、私ハ林サンニ抗議ヲ申シダ、何故カ、「ヘラクライトス」「ゴルツ」ナドモサウ云フヤウナコトヲ言ウテ居ルガ、ソレハ戰爭ガ必ズシモイカヌノデハナク、戰爭ニモ效果ガアルト云フコトデ、戰爭ノ良イ所ヲ出ス爲ニ書イテ居ルノデアリマシテ、吾々ノ國ハ進歩ノ爲ニ戰爭スルコトハナイ、殊

ニ「ルーズベルト」ノ秘書官ノ書イタ「ルーズベルト」感想錄ノ中ニ、明治大帝クラキ平和ヲ愛セラレタ御方ハナイト云フコトガ書イテアルガ、其ノ通りデス、日露戰爭ノ開戦ニ付テ一番最後ニ贊成サレタノハ明治大帝デアリ、戰ヲ止メルニ付テ一番先ニ贊成サレタノハ明治大帝デアリマス、凡ソ陛下ガ軍ノ出動ヲ命ゼラレル時ニハ、已ムニ已マレヌ時シカナイ、一體戰爭ナドト云フ言葉ヲ使フト昔ノ人ニ叱ラレル、征伐デナケレバナラス、ソレハドウ云フ所カラ來ルカト云フト、本當ノ親ノ心ヲ以テヤル、親ハヤトラニ頭ヲ打ツタリシマセヌ、折檻シマセヌ、出來ルダケ言葉ヲ和ゲテ教ヘテヤル、已ムヲ得ヌカラ打ツ、私ハサウ云フ點カラ言ツテ、實ハ簡單デハアルケレドモ、日本ノ皇道精神ト云フモノハ自然其ノ儘デアツテ居ル、王道政治ニアラズ、哲人ガ自然ヲ觀テ、其ノヤウニアリタキモノダト云フヤウナ政治デハナイ、私共ハサウ云フ風ニ考ヘルノデアリマシテ、是等ノコトカラ考ヘマシテモ、動物學デモ或ハ電氣學デモ構ヒマセヌガ、サウ云フヤウナ觀方、教ヘ方デ、自然科學教育ヲ寧ロ盛ンシテ戴キタイ、斯ウ云フ希望ヲ持ツデ居リマス、御感想如何デアリマスカ

○荒木國務大臣 天地自然ノ大義、此處ニ總テガ發シテ居ル、古今ニ通ジテ謬ラズ、中外ニ施シテ悖ラズト仰セラレタノモ此ノ點デス、丁度前ノ樞尾委員ノ御話ト關聯ヲスルノデアリマシガ、我國ノ教ガ自然ノ姿ヲ尊バレ、自然ノ儘ニ各ガ其ノ天賦ヲ盡ス、所謂處ヲ得セシメルト仰セラレタコトモ、志ヲ遂ゲシムルト仰セラレタコトモ、私ハ其處ニアルト拜承シテ居リマス、皇道ノ尊サガ茲ニアルト拜察致スノデアリマス、隨ヒマシテ此ノ頃能ク自然ヲ征服スルト云フコトガ問題ニナルヤウデアリマスケレドモ、私ハ此ノ文字ヲ使フコトソレ自體ガ、何デモナイヤウデアリマスケレドモ、自然ニ對スル敬虔ノ念ヲ薄クスル、自然ヲ征服スル勇氣、氣魄、是ハ亞米利加邊リカラ流レテ來タコトト存ジマスルガ、其ノ結果ハ全體ノ不幸ヲ招クコトニナリハスマイカ、斯ウ實ハ考ヘルノデアリマシテ、自然ノ總テノ姿コソ吾々ノ履ムベキ姿デナケレバナラス、隨テ自然ヲ尊ブト共ニ、自然ガ何モノデアるかト云フコトヲ研究スルコトガ、先程御話ニナリマシタ大キナ意味ニ於ケル物心一如——此ノ頃動モスルト物心一如ト云フコトヲ狹義ニ解セラレマシテ、一方ニ於テ精神作興、一方ニ於テ物ノ計算ト云フヤウ

ナコトガ物心一如ノヤウニ考ヘラレテ居ル
ヤウデアリマスガ、狹義ニ於テハサウカト思
ヒマス、併シモット大キナ意味ニ於テ物心
ハ一如デアルト考ヘネバナラス、サウ進シ
デ行クベキモノデアルト考ヘテ居ルノデア
リマス、隨テサウ云フ意味ヲ以テ自然ノ姿
ヲ探求シ、自然ノ總テヲ研究シ、之ヲ以テ
更ニ總テノ發達進歩ノ上ニ寄與スルト云フ
コトモ、又ソレヲ以テ自然ノ眞理ヲ求メル
ク心ニ置イテ、先般モ御話ガアリマシタヤ
ウニ、天地自然ノ儘ニ生命ガアル、其ノ自
然ヲ通ジテノ自然科學ノ研究デアアル、斯ウ
云フ敬虔ナ態度ヲ以テ自然科學ニ進ンデ行
キマス時ニ、物心一如デアルト云フ意味ト
モ、文武一道デアルト云フ意味トモ、總テ
同一デアツテ、茲ニ自然科學ト精神科學ト
ハ一體ヲ成スモノデアアル、自然科學ニ進ム者
ガ動モスルト精神科學ヲ疎カニシ、精神科
學ニ進ム者ガ動モスルト自然科學ヲ疎カニ
スルト云フコトガアリ勝デアアル、實ハ兩者
背反スルモノデハナイ、兩者ノ間ニ一貫シ
タ精神ガアルノデアアル、即チ吾々ガ理想境
ニ到達シタ時ニハ必ず自然科學ト精神科學
トハ一體ノモノトナツテ現ハレル、人間ノ智
慧ヲ如何ニ誇リマシテモ、利口ラシイヤウ

ナコトヲ申シマシテモ、學者ラシイコトヲ申
シマシテモ、ソレハ大自然ノ間ノ一部ヲ捉ヘ
テ申スコトニ過ギナイノデアリマス、アノ
複雑ナ高等數學デスラ、唯一ツノ假定ノ方
式ヲ以テ初メテ成立ツコトデアツテ、事實
カラ申シマスレバ未ダ其ノ一步ニ過ギナイ
ト私ハ思フノデアリマス、今御話ガアリマ
シタ如クニ、能ク自然ノ大キサニ對シテ事
例トシテ承ルコトデアリマスガ、世界一ヲ
以テ任ズル程精巧ナ一本ノ針デサヘモ、蜂ノ
尻ノ針ニハ精巧サガ及バナインデアツテ、
顯微鏡下ニ照ラシマスレバ、片方ハ「ジグザ
グ」デ針ノ姿ヲ成シテ居ラス、所ガ蜂ノ針
ハ最後マデ鋭イ針ノ姿ヲ見セテ居ルト云フ
コトヲ承ルノデアリマスガ、斯様ナコトヲ
考ヘマシテモ、吾々ガ自然ニ對スル敬虔ノ
念ヲ棄テテ我が物顔ニ思ヒマスルコトガ、
却テ淺ハカナコトデ、人間ノ進歩ヲ妨ゲ、
天賦ヲ何處マデモ成長セシムル所以デナイ
ト考ヘマス、サウ云フ意味ニ於テ自然科學
ノ發達ヲ何處マデモ致シテ行キマスルコト
ハ、總テ物心兩方面ノ發達ニ寄與スルコト
デアリ、一方ニ於テ精神方面ノ發達ガ左様
ナ意味ニ於テ進ミマスル時ニ、自然科學ガ
發達スルコトニナツテ、初メテ文化ノ上カ
ラ眺メマシテモ、茲ニ一方ニ偏セザル進歩

ヲ爲スノデアアル、斯様ナ意味ニ於テ先程、
椎尾委員カラモ御話ガアリマシタヤウニ、
皇道教育ノ上ニ於テモ深ク此ノ邊ニ心ヲ用
ヒテ進ムコトガ必要デアルト、教育ノ見地
カラ考ヘルノデアリマス
○野村委員長 樋口君
○樋口委員 私ハ青年學校、ソレカラ現今
ノ國民學校、此ノ國民教育ニ付テ、尙ホ師
範教育方面、及ビ職員其ノ他ニ付テ政府ニ
御尋致シタイト思フノデアリマス、私ハ實
踐問題ニ付テ御尋スルコトガ多イノデアリ
マスカラ、強イテ大臣ニ御答ヲ願ハウトハ
思ヒマセス、田中局長ナリ其ノ他ノ政府委
員カラノ御答辯宜シイノデアリマスガ、
大臣ニモ一ツ聽イテ居ツテ戴クコトヲ希望
致シマス、青年學校ノ義務制ガ一般ニ非常
ニ歡迎セラレテ居ル、勿論是ガ必要ナルコ
トガ長イ間唱ヘラレテ、茲ニ實現ヲ致シマ
シタノデアリマスカラ、無理カラヌコトデ
アリマス、併シ昨日来色々御話ガアリマス
ル如ク、其ノ效果ヲ舉ゲテ初メテ是ハ慶賀
スベキコトデアリマスルガ、最モ革新的ナ
ルヤリ方デアリ結構ナ事デアリマスルダ
ケ、必ず之ニハ困難ガ伴フモノデアリ
マス、此ノ困難ニ打克ツテ初メテ青年
學校ノ目的ヲ達スル、是ニハ勿論政府ニ

於テモソレトモ萬遺憾ナク御研究ニナツ
テ居ルトハ思ヒマスルシ、又教育審議會
ト云フ權威者ノ御意見等ニ依ツテヤツテ行
キマスルノデ、誤ガナイトハ信ジマスケレ
ドモ、併シナガラ上ノ方ノ學校ノコトハ兎
ニ角デスガ、小學校デアルトカ、下級ナル
一般大衆青年ノ教育等ニ付キマシテハ、往々
ニシテ其ノ實情ニ即セサル結果ガ生ジマ
スルノデ、斯ウ云フ大切ナル制度ヲ成果ア
ラシメルコトニ付テハ、ドウシテモ政府ノ
ミデナク、上下一致協力シテ初メテ此ノ困
難ヲ克服スルコトガ出來ルト思フノデアリ
マス、此ノ點ニ付キマシテ私ハ實際ニ觸レ
テ居リマスル關係カラ、實踐上ニ付テ疑義
ヲ質スノデゴザイマス
第一ニ青年學校ノ目的デゴザイマス、讀
メバ簡單ナコトデアリ、最モ結構ナコトデ
アリマスルガ、大體心身ノ鍛鍊、ソレカラ
職業及ビ實際生活ニ必要ナル知識、技能ヲ
授ケル、斯ウ云フコトガ主タル目的デアリ
マスガ、是ハ洵ニ言フコトハ容易イガ、實
際之ヲ實行ノ上ニ現ハスコトハ中々難カシ
イ、是ガ實行ノ上ニ現ハレテ來ヌヤウナコ
トデアリマスルナラバ、青年ハ喜ンデ來ヌ
シ、社會モ喜ンデ之ヲ迎ヘヌコトニナリマ
ス、洵ニ詰ラスコトヲ聽クヤウデアリマス

ガ、心身ノ鍛練及ビ職業、實際生活ニ必要ナル知識技能ヲ授ケルト云フコトハ、具體的ニドシナ風ノコトヲオヤリニナル御考デアルカ、是ヲ先ヅ御同致シマス

○田中政府委員 只今青年學校ノ目的ニ付キマシテ御質問ガゴザイマシタガ、多年御經驗ガアルコトデアリマシテ、私共カラ改メテ申上ゲルマデモナイコトデアルト思フノデアリマスガ、只今御示シノ如ク青年學校ニ於キマシテハ、心身ノ鍛練、職業及ビ實際生活ニ必要ナル知識技能ヲ修得ト云フコトガ主眼トナツテ居ルノデアリマス、而シテサウ云フ目的ニ到達致シマス具體的ノ方法ハドウ云フモノデアルカト云フコトニ主眼ヲ置カレマシタ御質問ト拜承致スノデアリマスガ、青年學校ハ只今ノヤウナ目的ヲ持ツテ居ル學校デアリマスルガ、之ヲ達成スル手段ニ付キマシテ、特ニ青年學校ハ工夫ヲ凝ラシテ居ル學校デアルト云フコトヲ申上ゲテ差支ナイノデハナイカト思フノデアリマス、比較的短時間ヲ以チマシテ教育ヲスルト云フ點ニ必然的ノ制約ヲ持ツテ居リマスノデ、一層此ノ方法ノ上ニ於キマシテ、青年學校ニ於キマシテハ考究ヲ要スルコトト考ヘルノデアリマス、而シテソレガ爲ニ考ヘテ居リマス、最モ根本的ナル問題

ハ、青年學校ニ於キマシテハ、其ノ目的ハ甚ダ廣大デアリマスルガ、其ノ手段ニ於キマシテハ、與フ限リ集中的ナル方法、綜合的ナル方法ヲ執ラウト云フノガ一ツノ觀點デアリマス、學科目ノ區別ニ於キマシテモ、努メテ綜合的ニ致シマシテ、修身及ビ公民科、普通學科、職業科トカ教練科ト云フヤウニ非常ニ大キク分ケマシテ、而シテ其ノ相互ノ間ニ於キマシテ彼此交益スルヤウニ教育ヲヤツテ行クト云フ點ニ於キマシテ、青年學校ハ今日我國ニ行ハレテ居ル他ノ學校ニ比ベマシテ大キナ特色ヲ持ツテ居ルト考ヘルノデアリマス、而シテ第二ノ方法ト致シマシテハ、斯様ニ學校教育ノ組織方法ガ極メテ綜合的デアリ、集中的デアリマスガ、此ノ學校教育ダケヲ以チマシテ青年ニ必要ナル知識技能、性格ヲ與ヘルト云フコトヲ考ヘテハ居ラヌノデアリマシテ、一面ニ於キマシテ其ノ青年ガ實際生活ヲヤツテ行クト云フコトニ根本ノ目標ヲ置キマシテ、其ノ實際生活ト學校生活トガ打ツテ一丸トナツテ、相交益シテ青年ヲ向上セシメル、斯ウ云フ所ニ工夫ヲ凝ラシテ居ルノデアリマス、即チ學校ノ内部ニ於キマシテハ努メテ綜合的デ、而シテ又之ヲ單純ナル、謂フ所ノ知育偏重ニナラナイヤウナ方法ヲ以テ、

學校ニ於テハ行ヒマスルシ、其ノ學校ノ教育ト云フモノヲ、校外ノ實際生活ト聯關ヲ持タセル、斯ウ云フ點ニ工夫スルコトニ依リマシテ、只今茲ニアリマシヤウナ心身ノ鍛練、或ハ職業ニ必要ナル知識技能ヲ修得ト云フコトヲ行ハウトシテ居ルノデアリマス、心身ノ鍛練ト云フコトガ、或ハ公民科ト云フコトニ依ツテ德操ヲ養フトカ、或ハ教練科ニ依ツテ體ノ鍛練ヲ行フトカ云フコトノヤウニハ考ヘテ居ナイノデアリマス、其ノ教練科ト云フヤウナモノニ於キマシテハ、固ヨリソレガ身體ノ鍛練ト共ニ、ソレガ精神ノ鍛練ニナル、又職業科ニ於キマシテモ、ソレガ單純ナル職業教育デハナクシテ、ソレガ德性ノ涵養ニ資スルト云フ風ニ、總テ彼此聯關致シマシテ、而シテ多岐ニ分レマセヌデ、極ク集中的ノ方法ヲ執ルト云フコトニ依リマシテ、最モ實效的ノ效果ヲ擧ゲテ行カウ、一面先程申上ゲタヤウニ、實際ノ職業生活、實際ノ國民生活ト云フモノヲ打ツテ一丸トスルト云フコトニ依リマシテ、鍛練ト云フコトガ飽クマデ行の關係ニ於テ、實際的ノ效果ヲ擧ゲルヤウニ持ツテ行キタイ、斯様ナコトニ工夫ヲ凝ラシテ、青年學校ハ心身ノ鍛練トカ、職業及ビ實際生活ニ必要ナル知識ヲ授ケルト云フヤ

ウナ目的ヲ到達シタイ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○樋口委員 ドウモ抽象的ノヤウデ、私ニハハツキリピント來マセヌガ、私ハ斯ウ云フコトヲ思フノデス、職業及ビ實際生活ニ必要ナル知識技能ヲ授ケルト云フコト、是ハ言フベクシテ是レ位困難ナコトハナイカト思フノデアリマス、農村デ見マスルト大體農業バカリデアリマスルガ、都市ニ於ケル青年ノ就職シテ居ル狀態ハ、千差萬態デアリマス、工場トカ云フ纏マツタ所ノ従業員ハ宜イガ、鰹鮓屋ニモ居ラウシ、又鰹頭屋ニモ居ラウシ、雜貨屋ニモ居ラウシ、小サナ各種ノ物ヲ作ツテ居ル者ニ、機械科ヲ設ケルトカ、何ヲ設ケルト云ツテ見タ所ガ、實際是ガ職業ニ合フヤウニ私ハ行カヌト思フガ、斯ウ云フヤウナコトハ校外ノ教授トシテ、學校等デ彼此レ餘リ専門ニ互ルヤウナ點ヲ教ヘラレヌ方ガ、寧ロ宜イコトハナイカ、心身ノ鍛練ト云フコト、是ガ必要デアツテ、是サヘ鍛練ヲ致シマスレバ宜イ、隨デ職業ノ方ハ餘程氣ヲ付ケテヤリマセヌト、其ノ學校ヘ行クコトヲ厭フト云フコトニナル、ソレハ即チ自分ノ目的デナイコトヲ畫一的ニ教ヘルノガ、從來ノ弊害デゴザイマス、ダカラ私ハ此ノ點ニ付テハ、

鰻鮓屋ニ居ル小僧デアリマスレバ、鰻鮓屋ヲ覺エルト云フコトガ、實際生活ニ即スルコトデアツテ、之ニ他ノ商業ノコトヲ教ヘテ貰ツタ所ガ私ハ如何カと思ヒマス、サウ云フコトヲ致シマスルト、一時預リノ腰掛見タイニナツテ、却テ此ノ者ガ他ニ働クヤウニナツテシマヒハセスカト云フコトヲ案ズルノデアリマス、尙ホ茲ニ今ノ目的ヲ達スル上ニ於テ、過去ニ於ケル缺陷ヲ顧ミテナサレルモノダと思フノデアリマスガ、此ノ青年學校ノ前身ト云フモノハ、兎ニモ角ニモ小學教育ヲ卒ヘテ、其ノ後ノ社會的教育ト云フノデアルケレドモ、小學校令ガ出ルト同時ニ此ノ施設ハアルノデアリマス、實業補修科ト云フモノガアリマスルニモ拘ラズ、之ニ就學スル者ガ、最初ノ内ハ相當成績ガアツテ來タモノデゴザイマスガ、近時其ノ就學率ハ惡イノミナラズ、現ニ只今ノ青年學校ノ本科ノ就學率ト云フモノハ、統計デ御覽ニナレバ兎ニ角デスガ、事變ノ爲ニ先ヅ戰爭ニ行カナケレバナラヌト云フコトデ、訓練ガ加ハツテ居ルカラ來マスケレドモ、實際ノ狀態デ見ルト、此ノ就學率ト云フモノハ極メテ惡イ、此ノ惡イト云フコトハドウ云フコトカト云フト、自分ノ實生活ニ即シナイ教育ヲスルカラデアアル、サ

ウ云フ原因ガ何處ニアルカト申シマスルト、之ヲ教ヘル所ノ先生ト云フモノハ、先ヅ師範學校ヲ出テ來テ、尋常科ヲ教ヘテ居ツタ先生デゴザイマス、ソレガ今日八年間教ヘル、其ノ先生ヲ此處ヘ出シテ來ル、校長モ同ジ校長デアリ、同ジ先生デアアル、ソコニ私ハ非常ニ缺陷ガアルト思フ、只今デモ斯ウ云フ風ニ心身ノ鍛鍊トカ、職業ノ何ダトカ言ツテ、綜合的ニヤルナドト云フ方針ヲ示サレルコトハ宜シイガ、爲ス所ノ人ガ果シテアリヤ否ヤ、兎ニ角ハ制度ヤ内容デハナイ、人ガナケレバイカヌコトデアリマス、餘リ此ノヤウナ難カシイ標題ヲ掲ゲテ御ヤリニナラヌヤウニ、私ハ大體何處デモ行ヒ得ラレル程度、此ノ時局ニ對シテ體ノ丈夫ト云フコト、鍛鍊教育ヲ必要トスルナラバ、其ノ方面ニ先ヅ全力ヲ注グ、他ハ從トシテヤラレルト云フ位ニ致シマスレバ如何カ知ラスガ、私ハ過去ノ經驗ニ徴シマシテ、之ヲ申上デテ置ク次第デアリマス

ソレカラ男女十三四歳ニナリマスレバ、是ハ青年期ノモノト私共思ツテ居ル、政府ノ方デハドウ云フ風ニ御考ニナリマスカ、無論青年學校トナツテ居リマスカラサウ思ヒマスガ、今後ノ取廻シニ付テ、之ヲ青年期ト觀ルカドウカ、一寸御伺致シマス

○田中政府委員 最初ノ部分デゴザイマスルガ、是ハ或ハ私ノ御答ヲ必要トシナイデ足ルカト存ジマスルガ、青年學校ニ於キマシテハ職業及ビ實際生活ニ必要ナル知識技能ヲ授ケルトアルケレドモ、ソレハ實行不可能ニ近イカラ、サウ云フコトハ止メタラ宜カラウ、端的ニ申シマス、其ノヤウナ御意見ノヤウニ拜聴シタノデアリマス、私共モ總テ掲ゲテ居ルコトガ日本國中、其ノ通りニ理想的ニ行ハレテ居ルトハ、勿論決シテ申上ゲルノデハナイノデアリマス、併シナガラ概シテ申シマスルト、青年學校ニ於キマスル職業教育ト云フモノハ、農村ニ於キマシテハ相當ナ成績ヲ擧ゲテ居ル、少クトモ相當ノ成績ヲ擧ゲ得ル立派ナ可能性ガアルト云フコトヲ申シテ差支ナイノデハナイカト考ヘルノデアリマス、職業及ビ實際生活ニ即スルト云フコトガ、實際ニ於テ困難ナハ都市ノ方面デアアル、其ノヤウナ仰セダト考ヘルノデアリマス、ソレハ私共モ左様ニ思フノデアリマス、ソレデ文部省ニ於キマシテモ、都市ニ於キマスル所ノ職業教育ニ付キマシテハ、相當ノ苦心ヲ拂ヒマシテ、豫ネ〴〵諸大家ヲ聘シマシテ、其ノ意見ヲ聴キ、最近ニ於キマシテハ其ノ教授要目ニ付キマシテモ、從來斯ウ云フ方面

ノ教授要目ト云フモノハ、獨リ青年學校ノミナラズ、他ノ方面ニ於キマシテモ無イト云フ狀況デアツタノデアリマスガ、特ニ青年學校ニ付キマシハ諸大家ヲ聘シマシテ、教授要目等ノ編纂ニ付キマシテモ、格段ナ努力ヲ致シテ居ルヤウナ次第ナノデアリマス、都市ニ於キマシテモ、殊ニ商業ニ付キマシテハ、大體商業ノ一般的ノ問題ニ付キマシテ、基本的ナルコトヲ青年學校ヲ教ヘマスコトハ、非常ニ效果のデアリマスルシ、其ノ效果ヲ擧ゲ得マスル可能性モ比較的多イコトト考ヘルノデアリマス、實際ニ於キマシテ非常ニ困難ナノハ工業部面ナノデアリマスガ、此ノ方面ニ於キマシテハ、是ハ一面ニハ町村ニ於キマスル所ノ施設、或ハ又之ニ對シマスル國家ノ助成ト云フコトニモ多分ナル聯關ヲ持ツコトデアリマスルガ、多クノ金ヲ掛ケマスレバ、相當ノ施設ヲ爲シ得ルト云フコトハ當然ノコトデアリマスルガ、サウ云フコトデハナクシテ、非常ニ多クノ金ヲ投ズルト云フコトヲ前提トシナイ、極ク現實的ナ考ヘ方ニ於キマシテ、都市ニ於キマスル所ノ工業教育ヲ如何ニシテ行ハシムルカト云フコトニ付キマシテハ、最近作リマシタ所ノ教授要目ニ於キマシテハ、工業ノ種目ヲ十種目以上ニ分チマシテ、

ソレノ其ノ内容ヲ決メテ居ルノデアリマス、サウシテ其ノ各地方ニ於キマシテ比較的多ク行ハレテ居リマスル産業ガアリマスタラバ、ソレヲ中心ニシテ、之ヲ運用シテ行クヤウニ致シタイ、又都市ノ如ク非常ニ雑多ナ職業ガアリマスル場合ニ於キマシテハ、極ク特殊ナモノニ付キマシテハ、或ハ其ノ同業組合等ノ私立青年學校等ヲ作ルトカ云フヤウナコトモ考ヘラレマスルシ、都市ニ於キマシテハ又將來其ノ計畫ガ進ンデ参リマスルナラバ、一ツノ職業科ニ付キマシテハ、相當ナ實習設備ヲ一區内ニ集中シテ、之ヲ作ルト云フヤウナコトモ考ヘラレマセウシ、其處ニ相當ノ教員ヲ設置スルト云フコトモ、比較的考ヘ得ラルルノデヤナカラウカ、又青年學校ハ必ズシモ畫一的ナコトヲ考ヘテ居ラスノデアリマスルカラ、其ノ地方ニ於キマシテ青年學校以外ノ施設ニ於キマシテ、モット適切ナル職業教育ヲ施シ得ルヤウナ施設ガアリマスルナラバ、ソレヲ採用スルコトヲモ認メヨウト考ヘテ居ルノデアリマス、彼此相俟チマシテ、都市ニ於キマスル職業教育ニ於キマシテモ、教員ノ養成ニ一層ノ意ヲ用ヒマスルナラバ、今後相當ナ效果ヲ得ルノデハナカラウカ、御説ノゴザイマシタ通りニ、ヤハリ聞

題ノ中心ハ教員ニ其ノ人ヲ得ルト云フコトデアルト思フノデアリマス、併シ農村方面ニ於キマスル所ノ農業教育ノ方面ニ於キマシテハ、是亦色々御意見ハアラウカト思フノデアリマスルガ、當局ト致シマシテハ、現ニ相當ノ人ガ相當ノ數ニ於テ存在致シテ居リマスルシ、將來ニ於キマシテモ、斯ウ云フ人ヲ段々ニ得ラルルコトト思フノデアリマス、ヤハリ此ノ方面ニ於キマシテモ、都市ニ於キマスル工業教員ノ養成ト云フコトニ對シテ、今後特別ナル努力ヲ致サナケレバナラヌト云フ風ニ考ヘテ居ル次第デアリマス、而シテ是等相俟チマシテ、青年學校ノ職業科モ漸次充實致スノデアリマシガ、青年學校ニ於キマスル心身ノ鍛鍊ト云フコトハ、實ハ空漠タルコトバカリデハナクシテ、ヤハリ青年ノ校外ニ於ケル實生活ニ即シタル所ノ訓練ニ依ツテ、初メテ其ノ體モ丈夫ニナリ、又シツカリシタ精神モ體得セシメ得ルノデアリマシテ、抽象的ナル工作ニ依ツテ精神教育ヲ施サウト云フコトトハ、青年學校ハ本質的ニ考ヘ方違ツテ居ルノデアリマシテ、單ニ心身ノ鍛鍊ト云フコトカラ考ヘマシテモ、ヤハリ職業ニ即シタル教育ヲ施スト云フ點ヲ省キマシテハ吾々ハ青年學校ノ效果ハ擧ゲ得ナイト考ヘ

マス、唯此ノ意味ニ於キマシテ今日總テノ青年學校ガ理想的ニ行ツテ居ルト云フコトマデ、吾々ハ強辯シヨウトハ思ハナイノデアリマスガ、サウ云フ理想ニ向フ可能性ハ十分ニアルト、斯様ニ考ヘマシテ、一層ノ努力ヲ拂ツテ居ル次第デアリマス
次ニ三十四歳、詰リ尋常小學校ヲ終ツタ者ヲ青年トシテ見ルカドウカ、斯様ナ御説デアリマスルガ、此ノ點ニ付テハ心理學者其ノ他ノ説ニ於キマシテ色々ナル學説ガアルノデアリマスガ、私其ノ考ヘテ居ル所ニ依リマスレバ、之ヲ純粹ノ青年、本科ニ於ケル青年ト全ク同一ニ行フト云フコトハ餘程考ヘモノデヤナカラウカ、之ヲ青年ト致シマシテモ、所謂青年ノ前期トシテ考ヘルベキモノデハナカラウカ、ソコデ本科ノ場合トハヤハリ違ツタ方法ニ於キマシテ、又違ツタ見方デ教育ヲ爲サナケレバナラヌ部分ガ相當ニアルノデハナカラウカ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○樋口委員 都市ノ青年學校デアリマスガ、此ノ前ニ御答辯ガアツタノニハ、青年學校ヘ通フ間ハ其ノ勞賃ハ、ヤハリ其ノ時間ハ雇傭主ニ於テ出ス、斯ウ云フヤウニ今考ヘテ居ル、斯ウ云フ御説デゴザイマシタガ、是ハ御尤ナコトデアルト思ヒマス、之ニ付キマシテハ私共モ經驗ガアルノデゴザイマシガ、餘程是ハ氣ヲ付ケテヤツテ戴キマセヌト、學科ハ一時間デアリマスケレドモ、其ノ費ヘル時間ハ、殆ド其ノ日ハ半日ハ駄目ニナツテシマフノデアリマス、ガカラ餘程ソコニ裕リヲ見テ貰ハヌト、今仕事ヲ止メタ、ヒューツト學校ヘ走ツテ行ツテ、直グヤルト云ツテモ、精神ガ落付カヌ先ニハイケマセヌ、是等ニ付キマシテハ餘程國家トシテモ補償セラレルモノダト思ヒマスガ、其ノ邊モ一ツ御考ノ中ニ入レテ置イテ戴キタイソレカラ、是カラ色々教科書ナドヲ御作リニナルト思ヒマスガ、是ハ私共ノ經驗カラ見マス、金サヘアレバ設備ヲシテ工科ノコトヲ教ヘルト、斯ウ言ハレルガ、實際ノ上級ノ學校ヘモヨウ行ケズ、サウシテ先ヅ資力モナイ者デアリマス、ドチラカト言ヘバ、自分ハ家デドウニカ苦心スレバヤレルト云フ程度ノコトガ、自主獨立ヲサセル上ニ於テ非常ニ私ハ手引キニナリハシナイカ、餘リ大キイコトヲ教ヘラレルト云フ結果、皆就職スルト云フ方ニノミ行ツテ、獨立心ヲ養フニ於テ都合ガ悪いノデヤナイカ、サウシテ多クハ忠臣正成ヲ説キ、多クハ大成者ト云フカ、偉人ト云ヒマスガ、ヨク教科書ニ書イデアリマスガ、實際是等

ノ程度デ郷土ヲ守ル者トスルト、成ベク一兵卒ト雖モ郷土ニ於ケル殊勲者ヲ其ノ教科書ニ入レテ眞似シ、我等モ及ブト云フ程度ニ行ケル教材ヲ用ヒル必要ガアリハシナイカ、斯ウ云フ風ニ思ヒマスルノデ、御參考マデニ申上ゲテ置ク次第デアリマス

ソレカラ今ノ心身ノ鍛鍊ト云フ言葉デゴザイマスガ、都市ノ青年學校ニ、ヤハリ國民精神ノ涵養ト體位ノ完成トヲ目的トスル農業精神ヲ教養スル必要ガアルト思フガ、是等ニ付テ何ト御考ヘニナリマスカ

○田中政府委員 都市ノ青年ニ對シマシテ農業のナル教育ヲ施シテハドウカ、斯ウ云フ御話デゴザイマシテ、私ハは一ツノ御意見ト致シマシテ——御意見ト申シマスルヨリモ、出來得ベクンバサウ云フコトハ非常ニ結構ナコトデハナイカト思フノデアリマス、唯併シナガラ此ノコトヲ青年學校ニ於テ行ツテ行クト云フ上ニ於キマシテハ、實ハ相當ノ困難ガ伴ツテ居リマスルコトハ御承知ノ通りト思フノデアリマス、何分ニモ限ラレマシタ時間ノ中ニ於キマシテ、訓練ヲ行ツテ參リマスルノデ、斯ウ云フコトヲシタラバ有効デアルト云フヤウナコトヲ行ツテ行ク上ニ、相當ノ限定ガ置カレル譯デアリマス、隨ヒマシテ今ノ御説ハ私共全

ク同感ナノデアリマスルガ、之ヲ青年學校ニ採入レル上ニ於キマシテハ、現實ノ問題トシテ相當ノ困難ガアルヤウニ考ヘルノデアリマス、御趣旨ハ全ク同感デアリマス、教育審議會ナドニ於キマシテモ、十分サウ云フコトヲ國民學校ナドヲ經營スル場合ニハ採入レルヤウニト云フコトハ答申ニナツテ居ル答デアリマス、サウ云フ譯デ趣旨ニ於テハ全ク同感ナンデアリマスガ、實際問題トシテ、青年學校等ニ於キマシテ必ズソレヲヤツテ行クト云フコトニ付テハ、時間等

ニ於テ困難ガアリマス、ソコデ畫一的ニ行フコトハ困難デアリマスガ、都市ノ事情ニ依リマシテ、サウ云フコトヲ行ヒ得マス所ニ於テサウ云フコトヲ行ヒマスコトハ、極メテ好マシイコトノヤウニ考ヘル次第デアリマス

○樋口委員 之ヲオヤリニナルニ付キマシテハ、往々教ヘル所ノ專任教師ガ其ノ教ヘル目的ヲ間違ヘテ居ル場合ガ多イト思フノデアリマス、兎ニ角我國ノ農業ハ、食糧ヲ得ルト云フコトハ勿論ダケレドモ、農ハ國ノ本、斯ウ云フ意味ハ極メテ深長ナルモノデアツテ、決シテ我國ノ農業ハ食糧ヲ得ルト云フヤウナ單ナルコトデハナイ、兎ニ角建國ノ大精神ヲ此ノ農業精神ニ依ツテ承繼

ガレテ行クノダ、斯ウ云フ風ニ私共ハ思フノデゴザイマスガ、サウスルト教ヘル先生ガ、若シ農業ヲ教ヘルノニ、窒素燐酸加里ト云フヤウナ技術的ニ互ツタ教ヘ方ヲ致シマス、是レ亦非常ナ非難ヲ受ケルノデアリマス、兎ニ角此ノ農業ノ精神ハ、決シテ人ノ教ヘルベキモノデハナク、作物自體ガ教ヘルモノデアリ、又周圍ノ環境ガ之ヲ知ラシメルノデアリ、先生ガ自ラ技術的ニ農業ヲ教ヘルヤウナヤリ方ニ出マスレバ、私ハ

都市デ大反對ヲ受ケルモノダト思フノデゴザイマス、同時ニ非難ヲ受ケル問題トナツテ來ルト思ヒマス、是ハ確ニ一番嫌ハレテ居リマス、農業ヲヤラセルト云フノガ嫌ハレテ居ルノデゴザイマス

ソコデ少シ方向ガ變リマスガ、青年學校ノ目的ヲ達成スルト云フコトニナリマス、小學校ノ方トノ關係ニ於テ極メテ私ハ重大ナルモノガアルト思フガ、其ノ點ニ付テ政府ハ何カ御考ヘニナツテ居リマスカ

○田中政府委員 一寸御尋ノ意味ガ分リ兼ねマスガ……

○樋口委員 青年學校ヲヤツテ行ク上ニ於テハ、小學校教育ノ當時カラ此ノ方向ニ導クヤウニセンケレバナラス、青年學校ニ入レテカラト云フノデナク、入レルマデニ既ニ

青年學校ヲ嫌フカラ之ニ進ンデ行クト云フコトニ付テハ小學校教育ノ現在ノ狀態デハ私ハイカスト思フノデスガ、ソレトモ現在ノ儘デオヤリニナル御考デアリマスカ

○田中政府委員 小學校教育ノコトハ、實ハ私所管外ノコトデアリマシテ、私カラ申上ゲルコトハ或ハ僭越ナコトモ考ヘルノデアリマス、青年學校ト小學校トガ非常ニ格段ノ差ヲ以テマシテ、小學校ノ指導方針ト青年學校ノ指導方針トガ急ニ變ルト云フヤウナコトハ考ヘ得ラレナイコトデアリマス、而シテ青年學校デ採ツテ居リマス所

ノ——先程モ申上ゲマシタヤウナ成ベク綜合的ニ行フコトトカ、成ベク行的ニ訓練ヲシテ行クトカ云フヤウナコトハ、今日ニ於キマシテハ小學校ニ於キマシテモ十分ニ採入レラレテ居ルコトト思フノデアリマス、先程申シマシタ教育審議會ニ於キマスル國民學校ニ關スル答申ニ於キマシテハ、サウ云フ點ニ付キマシテ非常ナル注意ヲ以テ、答申ガ爲サレテ居ルノデアリマシテ、此ノ點ノ連絡ハ今後益々緊密ヲ加ヘテ行クモノト考ヘル次第デアリマス

○樋口委員 國民學校ニ付テデスガ、教育審議會カラ答申セラレマシタ要綱ヲ見マス、初等科六年、高等科二年、通ジテ八年、

斯ウ云フコトニナリマスガ、サウナリマス
ト、義務教育ヲ二年延長スルト云フコトニ
ナルト豫ネ、聞イテ居リマスガ、是ハ國
民ノ基礎的知識ヲ時代ニ即應スベク二年延
バスト云フコトカ、其ノ點ハドウ云フ御趣
旨ニナツテ居リマスカ、尙ホ中學校へ入リ
マス者ハ此ノ二箇年延長ノ八年ヲ修メ、是
マデ十二歳カラノモノガ、十四歳カラ入ル
ト云フコトニナルノガ原則トナルノデスカ、
此ノ點ニ付テ一寸御詳致シマス

○野村委員長 樋口君、普通教育局長ハ今
日見エテ居リマセヌガ……

○樋口委員 政府委員デモ……

○野村委員長 政府委員デモ社會教育局長
デスカラ、十分ナル確信ヲ持ツテ言フト云
フコトニ付テハドウ云フモノカ、ソレデ今
ノ二年殖ヤス理由ト云フコトハ、普通學務
局長ガ見エタ時ニシマシテ、國民學校自體
ニ付テノ質問ガアルナラバ進メデ戴キタイ
ト思ヒマス

○樋口委員 此ノ國民學校案ニ依リマス、
青年學校ノ普通科ト云フモノハ廢止スベシ
ト云フコトガ書イテアリマスガ、高等國民
學校ノ二箇年ヲ入レテ八箇年ノ義務教育、ソ
レカラ青年學校ノ方モ十二歳カラ十九歳マ
デト云ヒマス、ソコデ「ダブル」譯ニナル、

強ヒテ高等國民學校ノ義務制ヲ獎勵致シテ
行キマスナラバ、青年學校ノ普通科ノ晝間
通年ヲドウスルカ、私ノ方デ現ニ問題ニ打
突カツテ居ルノハ此ノ點デアリマスガ、教
育審議會ノ方ノ答申デ見ルト廢スベシトナ
ツテ居ルノデアリマス、私共ハ地方小學教
育ノ狀態カラシマシテ、尋常六年ヲ先ヅ卒
業致シマシテ、サウシテ此ノ後二年ノ間ト
云フモノハ、上級學校ニ行ク者ハ別デアリ
マスケレドモ、サモナイ者ハ此ノ二年ヲス
レバ直ニ社會人トナツテ行カナケレバナラヌ
ノデアリマス、從來ノ中學校ヲ中心トシタル
小學教育ノ下ニ於テハ、此ノ二年ト云フモノハヤ
ハリサウ云フ普通教育ト云ツタヤウナコトニ
終ル、成程其ノ中ニ實科モアリマス、是ハ色々
科目モアルケレドモ、實際問題トシテハ上
級學校ニ行クコトガ中心教育トナツテ、最
早アト二年ノモノハソレニ附ケタリノヤウ
ナ形ニナツテ居ル、併シナガラ高等小學ト
云フモノハ非常ニ入學率ガ多イノデアリマ
ス、此ノ入學率ガ多イノハドウ云フコトニ
原因シテ居ルカト云フト、就職ガ官公署初
メ、會社、工場其ノ他商店等、皆高等小學
卒業程度ト云フコトガアルモノデスカラ、
之ニ行クノデアリマス、併シナガラ其ノ結
果カラ見マスルト、此ノ二箇年間斯様ナ教

育ヲ致シマスルコトガ、其ノ本人ノ一代ノ
爲ニ非常ニ體格ニモ影響スルシ、其ノ他實
生活ニ於テ難儀ヲ致シマス、勿論高等小學
ヲ二年行ツト云ヒマシテモ、之ガ尋常科
六年ノ教育ヲ溫習スル、即チ完成セシムル
ト云フ二年デアリマスナラバマダシモデア
リマスガ、サウデハナクヤハリ高等小學一
年ハ一年、二年ハ二年ノ學科ヲ課セラレテ
居リマスカラ、小學校ニ入ツテカラ高等小
學ニ進ンデ卒業スルマデハ、一年生カラ分
ラズニ二年ニナリ、三年ニナリ、四年生ニ
ナツテ、高等小學ノ免狀ヲ貰ツテ來マシタ
ケレドモ、其ノ實何等ノ役ニ立タズ、唯ハ
年間義務教育トシテ學校ニ行ツタニ過ギナ
イ者ガ多イ、現ニ「イロハ」四十八文字ノ書
ケル者ガ少イノデアリマス、國語ノ満足ニ
ヤレル者ガ少イ、ソレデモ八年行ケバ免狀
ガ貰ヘルカラ行クノデアリマス、斯ウ云フ
形式的ナ晝一教育ノ方法ハ宜シクナイト云
フノデ、私ノ方デハ兎ニ角之ヲ實務學校ニ
シテ、卒業スレバ直ニ彼等ガ社會人トナツ
テ、其處ニ強壯ナル身體ヲ持ツテ商工業ノ
徒弟ニ行ク、サウシテ其ノ間ニ商工業ノ精
神ヲ打込ンデ、其ノ一代ヲ誤ラセヌヤウニ
シテ、之ヲ都市ナリ、何處ヘナリ送出シテ
行クガ宜イト云フコトカラ、高等小學校ニ

代ルベキ實務學校ヲ縣ノ教育方針ト致シマ
シテ、三十萬圓ヲ一校ニ掛ケ、ソレヲ範ト
シテ縣内ニ及ボサウト云フコトデヤツタノ
デアリマス、所ガソレガ非常ニ成績ガ良ク、
評判モ好クテ、畏多クモ高松宮殿下ヲ首メ
ト致シマシテ、又御勅使トシテ牧野侍從長、
平沼現總理大臣、又宇垣大將トカ、總テ文武
有名ナル方々ガ御出デニナツテ、此ノ教育
ノ方針ヲ最モ時代ニ適當シタルモノトシテ
御賞揚下サイマシタ、縣民亦之ヲ誇リトシ、
之ニ倣ツテ進ンダル町村ニ於キマシテハ今
ノ青年學校ノ型、即チ公民學校トカ國民學
校ト云フ名稱ノ下ニ、高等小學校ニ代ル所
ノ實業補習學校、實務學校的ノモノニ變ツ
テ居ルノデアリマス、ソレ等ハ何レモ晝間
ノ通年ニナツテ居リマシテ、所謂全日通年
デアリマスガ、是ガ相當ノ成果ヲ擧ゲテ居
ルノデアリマス、ソコヘ持ツテ來テ之ヲ又
廢止スベシト云フ聲ガアリマスルガ爲ニ、
此ノ學校ノ先生ヲ雇ハウトシテモ來ル者ガ
ナイノデアリマス、ノミナラズ今勤メテ居
ル先生デモ非常ニ不安ヲ感ジテ居リマス、
此ノ學校ヲ作ツテ居ル町村ハ何レモ教育ニ
關心ヲ持チ、兒童將來ノ爲ヲ思ツテ、相當
地方ノ反對モ押切ツテ、今日ノ成果ヲ擧ゲ
ツツアル、斯ウ云フモノガ廢止サレルト云

フヤウナ教育審議會ノ答申ニ付キマシテハ、洵ニ茲ニ不安ヲ持チ、將來教育方針ノ上ニ疑懼ノ念ヲ持ツコトガ甚シイノデアリマスガ、此ノ點ニ付テハ斯様ナ狀態ニアルコトヲ御諒察下サイマシテ、文部大臣カラ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス

○荒木國務大臣 國民學校八年制ノ義務教育ガ行ハレルニ伴ウデ、青年學校ノ廢止問題ハ、殊ニ補習科ガ廢止ニナルノデアリマスガ、是ガ論議ノ中心ニ相成ツテ居ルノデアリマス、今青年學校ガ御話ノヤウニ實務學校トシテ相當ノ成績ヲ舉ゲ、各方面カラ洵ニ優良ナリト言ハレル成績ヲ舉ゲテ居ル時ニ、之ヲ國民學校ノ高等科ノ方ニ移サナケレバナラスト云フコトニ對シテ、地方ニ於テモ非常ニ疑懼ノ念ヲ抱イテ居ル、斯ウ云フ御尋ノヤウデアリマシタガ、御尤ナコトデ、吾々モ其ノ點ハ此ノ論議ノ中間ニ於テモ絶エズ心配シテ居ルノデアリマスガ、此ノ八年制モマダ實施ハサレテ居リマセヌガ、根本問題トシテハ隨分大キナ議論ノアル問題デアリマス、兩者利害相伴ウテ居リマス、時ニハ之ヲ國民學校トセズシテ、青年學校ノ基礎教育ノ二年——出發點ノ二年トシテヤツタ宜イト云フ論モアリマスガ、是モ一理アルト思フノデアリマス、併シ要

ハ今マデノ高等小學校ハ、總テノ時間ヲ校內教育ニ費シテ居ル爲ニ、實務ニ關シテ非常ニ疎イ點ガアルト云フコトガ一ツ、又此ノ間ニ於テ十分ノ實務教育ヲスルコトガ將來非常ニ熟練シタ經驗ヲ積マセル上ニ於テモ重要ナノデアルカラ、直ニ仕事ニ移スコトガ必要ダト云フ議論モ色々アルノデアリマス、併シ是ハ將來八年制ガ假ニ出來マシタ時ニ、高等小學校ト云フモノ、即チ高等國民學校ノ高等科ノ内容ヲ、今御希望ニナリマシタヤウニ實務ノ方面ニ向ツテ十分教育ガ出來、鍛鍊ガ出來、實際ニ役ニ立ツヤウニシタイト云フ要望モ、可ナリ答申ノ中ニ含マレテ居ルノデアリマス、内容ヲ其處マデ持ツテ行ケバ、今御心配ニナリマシタヤウナコトモナク實務ニ十分ニ就キ得ル、而シテ義務教育トシマシテ、八年ニ於テ兩者完全ニ爲シ得ルヤウナ方法ガ講ゼラレナケレバナラスト思ツテ居リマス、實ハ義務制八年ガ出來マシタ時ノ高等國民學校ノ教科内容ニ付テハ、今御話ノヤウナコトヲ十分考慮シテ行キタイ、サウシテ或ル年限ノ間ハ多少ノ不便ハアラウト思ヒマスガ、結局落著ク所ニ落著イテ行ツテ、ソレガ續イテ青年學授ノ上級生ノ方面ニ於テ完成シテ行クヤウニスベキデハナイカト考ヘテ居ル

ノデアリマス、端的ニ申セバ、内容ノ考慮ニ依ツテ今ノ御心配ノ點ヲ補ヒタイト考ヘテ居リマス

○樋口委員 大體分リマシタガ、モウ一ツ御尋致シマス、私ハ教育審議會ニ青年學校ニ關係ノ委員ノ方ヲモウ少シ入レテ、國民學校トノ關係ヲ解決シテ貰ツタラドウカト思フノデアリマス、委員ノ數ガ決マツテ餘裕ガナイノカ知ラヌガ、出來得ルナラバ青年學校ニ經驗ノアル委員ヲ一ツ殖ヤシテ戴キタイト云フ希望ヲ申上ゲテ置キマス

尙ホ今大臣ノ御答辯ニ、高等國民學校ノ内容ヲ青年學校ノ現在ヤツテ居ル所ノ實績、即チ教育方法ヲ變ヘテ、ソレヲ青年學校ヘ引付ケテ行ケバ宜イデハナイカト云フ御説モアツタヤウデアリマスガ、是ハ實際ヲ知ラス人ノ机上ニ於ケル議論ダト思フ、先ツ今ノ十四歲カラ中學校ニ行クト云フノナラ宜イガ、十二歲カラ中學校ニ行ク、資力ノアル者ハ兎ニモ角ニモ中等學校ニ女モ男モ行クノデゴザイマス、殘サレタ者ハ資力ノナイ者デアリマシテ、他ノ者ハ中學ニ行ツテ一年生ダト言ツテ、如何ニモ上進シタ氣持ヲ持チ、又緊張モスル譯デアリマスガ、片方ノ殘ツタ者ハドウダト云フト、小學時代ニ於テハ相當優良ナ成績ヲ持ツテ居ル、

併シナガラ悲シイカナ資力其ノ他ノ事情ノ爲ニ、元ノ學校ヘ引續イテ通ハナケレバナラス、斯ウ云フ心理カラ行キマシテモ、洵ニソコニ色々ナ弊害ガ起ルモノデハナイカト思ヒマス

モウ一ツハヤハリ國民學校ノ答申案ノ中ニ、初等國民學校ト高等國民學校ヲ併置シタルモノヲ以テ國民學校ト稱ス、斯ウ云フコトガアリマスガ、是ハ私ハ如何ナル理由デ斯ウ云フコトニナツテ居リマスルカ知ラヌガ、ソレヲ原則トセズシテ、獨立ヲ原則ニスルト云フコトガ適當デハナイカト思フ、強ヒテ獨立サセヨト言フノデハナイガ、現在ノ狀態カラ言ヒマシテモ、都市ニ於キマシテハ高等小學校ト云フモノハ分離獨立ヲサセルト云フコトニナツテ居ルノデアリマスガ、若シ夫レ國民高等學校ト云フモノガ高等小學校ニ類スルモノデアラナラバ、之ヲ併置スルト云フコトハ革新デモ何デモナイ、從來通リノ事デアツテ、苟モ尋常高等小學校ノ名前ダケヲ變ヘタト云フヤウナコトヲ、權威アル審議會ガナサル筈ハナイト思フノデゴザイマス、之ヲ變ヘヨウトスルナラバ、校舍獨立ヲサセルコトヲ原則トシテ、已ムヲ得ザル場合ハ併置モ認メルガ、兎ニ角獨立ヲサセヤルト云フコトガ、子供ノ心理ノ

上ニ於キマシテモ、同ジ元ノ學校ニ行ツテ居ルノト非常ニ違フノデゴザイマス

ソレカラモウ一ツハ斯ウ云フコトデゴザイマス、之ヲ青年學校ノ普通科ノ一年生ニ致シマス、此ノ學校ニハ——私ノ方デモ今ノ公民學校ト云フノガ相當ゴザイマス、ソコニハ本科ノ生徒ガ居リマシテ、皆十八

歳、十九歳ト云フ者ガ居リ、劍道、柔道ヲヤルト云ツテモ、先ヅソレ等ガ一番ノ大將デアリマスニ依ツテ、此處ニ入ツタ一年生ハ丁度尋常小學校カラ中學校ニ入ツタヤウナ氣持デ、非常ニ緊張致シマスカラ、此處ノ普通科ヲ出マシタ本科生ト云フモノハ、本科ノ通學率ガ非常ニ宜イノデアリマス、尋常小學校ニ八年モ居レバソコノ餓鬼大將

デアル、恐レルモノガナイ、之ヲ直チニ青年學校ノ本科ニ入レマス、サア今度ハ中々本科ニ通ハナイノデゴザイマス、ソレハ普通科カラ本科ノ方ニ入レテ行クト云フノトハ、非常ニソコニ心理上ニモ違フシ、事實問題トシテハ此ノ連繫ハ非常ナ有利ナ結果ヲ實際ニ於テ吾々共ガ現認シテ居リマス、何レ又審議會ノ答申ニ基イテ、文部省ガ

大體ヲソレニ御決メニナルト思ヒマスガ、只今ノ併置ト云フコトヲ大體ノ原則トスルコトニ付テ、大臣ハドンナ風ニ御考ニナツ

テ居リマスカ、簡單ニ御答辯願ヒタイ

○荒木國務大臣 一寸今ノ御尋ノ要旨ガ分ラヌノデアリマスルガ、高等國民學校ノ方ヲ一般國民學校ノ方ト切離シテ、之ヲ青年學校ノ出發點トスルガ宜イ、斯ウ云フ御議論デアリマスルカ、一寸サウ云フ風ニ伺ツタノデアリマスガ

○樋口委員 國民學校ニ關スル答申案ニ、初等國民學校ト高等國民學校ヲ併置スルモノヲ以テ國民學校トスルト云フコトガ原則トナツテ居リマスガ、是ハ獨立ヲ原則ニセラルレルコトガ、現在ノ社會情勢ニ合ツテ居ルヤウニ私共ハ思フノデアリマス、之ヲ併置スルト云フコトデナク、獨立ヲ原則トシタ方ガ私共ハ宜イト思ヒマス、尙ホ更ニ青年學校トノ連絡ヲ執ラセルニハ、ヤハリ獨立サセタ方ガ、青年學校ノ本科トノ連絡ガ宜イノデハナイカ、斯ウ思フノデアリマス

○荒木國務大臣 今ノ八年ノ國民學校デハアルガ、高等國民學校ヲ全然切放シテ置ケバ、ソレガ上級ト申シマスカ、青年學校ヘノ順序トシテモ宜シ、又中學校ニ行ク者トノ關係カラ分レルカラ宜イノデハナイカ、斯ウ云フ二ツノ理由ノヤウニ承ツタノデアリマス、ソレモ一ツノ考ヘ方デアリ、實施ノ上ニ付テモサウ云フコトノ有利ナ點モアル

ト思ヒマスガ、八年制ノ義務教育トシテ、教育ヲ一貫シテ完成シタイト云フ基礎カラ出發ヲシテ居リマス爲ニ、之ヲ分離スルト云フコトニナルト、六年ト二年ト云フコトニナツテ、二年ノ問題ヲ別ニ考ヘナケレバナラス、今八年制ヲ何故ニ必要トスルカト云フコトハ、八年間義務制トシテ、中學ノ方ニ行カナイ者ノ教育ヲ一貫シテ完成ヲサセタイ、然ラズンバ中堅層ノ國民トシテ

ノ知能、徳性、體育ノ完成ガ出來ナイ、斯ウ云フ點カラ出發シテ居リマス爲ニ、出發點カラ之ヲ二ツノモノニ分ケテ、特殊ナモノニスルト云フコトハ困難デアラウト思フノデアリマス、根本カラ變ヘテ參リマスルナラバ、是ハ別デアリマスケレドモ、サウ云フ風ニ考ヘマス

○樋口委員 大體町村ノ經濟ノ上カラ行キマシテモ、是ガ青年學校デ行キマスレバ、晝間通年ノ青年學校、即チ現在各方面ニ相當アルノデゴザイマスガ、ソレニ行キマスルト、一町村一校若クハ特別ナル場合ニ二校、三校アリマスガ、今町村ノ一番教育費ニ困ル所ノ山村邊リノ遠隔ナル通學路ヲ持ツテ居ル處ハ、高等小學ガ何レノ小學

ニモ併置セラレテ居ル爲ニ、非常ニ學級數ガ不經濟ナモノニナルト云フヤウナコトガ一番ノ惱ミノ原因デアリマスガ、若シ高等小學校ヲ減ラスト言ヘバ、自治團體カラ非常ナル紛糾ヲ來シマスノデ、洵ニ遺憾ナガラ現在高等小學校ヲ併置シテ、不經濟不十分ナ教育ヲシテ居ルノデゴザイマス、是等ノ困ルコトガ何レノ町村デモアリマス、是ガ全國ノ町村長會カラ何トカ農村ノ高等小學ヲ止メテ、實務學校ノ方ニシテ賞ヒタイト云フコトノ動機トナツテ、私ハ實際青年學校ト云フモノニ變ツテ來タト

思フノデゴザイマス、當時三邊次官ガ愛知縣ノ知事ヲシテ居リマス時ニモ、ヤハリ知事ト致シマシテハ高等小學ヲ廢止シテ實務學校ニ移ス、決シテ是ハ廢メテシマフノデハナイ、實務學校ニ移スノダト云フヤウニ、地方ヘ見エタ時ニハアノ方デモ贊成ヲシテ居ラレルノデスガ、東京トカ云フヤウナ都會デハ此ノ高等小學ガ一番中心ノ教育トナツテ居ルト云フヤウナコトデ、遂ニ都會ニ引摺ラレテ今日ノ青年學校ト云ツタコトニナツタヤウニ私共ハ觀察ヲ致シタノデゴザイマス、是モ色々ナ理由ガアラウト思ヒマスケレドモ、農村ト都會トハ各々事情モ違ヒマス、サウシテ今日ハ全ク此ノ高等小學ヘ行カネバ何處ヘ行ツテモ就職ガ出來ヌト云フノデ、農村デモ皆高等小學々々々々、

ガ不經濟ナモノニナルト云フヤウナコト

斯ウ言フノデゴザイマス、是ハ學力ヲ望
ンデ入ルト云フヤウナ者ハナイコトハナ
イガ、サウ云フ者ハ實際ニ於テ少イ、ソレ
デ青年學校ヲ一町村一校トカ云フコトデ
キマシテ、今日ノ青年ガ僅カナル通學ノ距離
ヲ厭フナント云フヤウナ情弱ナル精神ヲ根
本的ニ打破シテ、相當ノ距離デアリマスレ
バ、之ヲ集メテ青年教育ヲ徹底的ニヤルコ
トニ致シタ方ガ、實際問題トシテ地方農村
ニ取ツテハ利益デハナイカ、是ハ決シテ高
等小學ヲ廢メテシマフノデハナイ、之ヲ實
務學校ニ變ヘテ行クノデス、青年學校ヲ義
務制トシ之ニ重キヲ置クト云フナラバ、先
ヅ以テ其ノ方ガ青年學校完成ニ近イ手段ノ
一ツデアルト思ヒマスルガ、高等小學ヲ存
置スルト云フ方カラ見マスルト、二箇年ヲ
延長シテ一貫シテ八年間ヲ基礎教育ニスル
ト言ヒマス、サウシテ内容ハヤハリ實務學
校的ニ變ヘルト言ヒマスケレドモ、其ノ教
ヘル先生ハヤハリ同じ先生デアリマス、中
ニハ實務ヲ嫌ツテ師範學校ヘ入ツテ居ルヤ
ウナ先生モアルノデゴザイマス、サウ云フ
實際ノ産業モ知ラズ、勤勞モ厭フヤウナ先
生モ中ニハアルノデアリマス、サウ云フ先
生ガ教ヘルナラバ、幾ラ内容ヤ制度ヲ變ヘ
タ所ガ、教ヘル人ガ同じ人デアリマスレバ

駄目デアリマスルカラ、是ハ青年學校ノ教
員養成所トカト云フ所カラ出テ來タ人デヤ
ラナケレバ駄目デス、唯制度ヤ内容ヲ變ヘ
ルト云ツテモ、小學教員ガ同じヤウニ教ヘ
テ行クナラバ何等ソコニ變ル所ハナイ、ヤ
ハリ一貫シタル八年間ノ基礎教育ヲスルト
云フコトニナルデアラウト思ヒマスガ、此
ノ基礎教育ヲ今ノ實務教育ニスルト云フナ
ラバ、ヤハリ今ノ青年學校ニナリマス、サ
ウナル位ナラバ、農村デハ之ヲ青年學校ト
シテヤツテ行ツタ方ガ宜イ、又都市デモサ
ウシタ方ガ宜イ、サウシテソレニ卒業ノ資
格ヲ與ヘテヤリサヘスレバ宜イノデス、青
年學校ト云フモノハ排斥スルト云フノデハ
ナイガ、主タル教育ト考ヘテ從タルヤウナ
風ニナツテ居ルノデゴザイマス、先ヅ青年
學校ノ普通科ヲ存スルナラバ——高等小學
以上ノ日數ヲ費シテ、學力ニ於テ體方ニ於
テ實力ヲ持ツテ居リマシテモ、之ニハ修了
證書ヨリ吳レナイノデゴザイマス、片方ノ
高等小學ハ卒業證書ヲ吳レ、官公署ハソレ
ヲ資格ト致シマスガ、青年學校ノ方ガ晝間
通年デアリ、實力ソレニ優ツテ居ツテモ、之
ヲ一般ニ採用スルコトニ付テハ非常ニ困難
ヲ感ズルノデ、青年學校ヲ嫌フノデゴザイ
マス、青年學校ヲ進ンデヤラセルナラバ、

青年學校ニモ普通科ノ卒業證書ヲ出スト云
フコトニスレバ、青年學校ト云フモノハ一
般ノ歡迎スル所トナルカト思ヒマスガ、現
在ノヤウナ狀態デ、片方ニ高等國民學校ヲ
設ケテ以前ノ高等小學ノ教育ヲ爲シ、其ノ
人ニ教育ノ内容ヲ改善サセルトシテモ、ソ
レヲ直チニ本科ヘ青年學校トシテ入レマシ
タナラバ、ソレハ非常ニ入學率ガ惡クナツ
テ、ソコニ青年教育トノ連繫ガ拙クナルト
云フコトヲ、私ハ過去ノ經驗カラ御參考マ
デニ申上ゲテ置ク次第デゴザイマス、ドウ
カ大臣ニ於カレマシテモ、此ノ問題ニ付テ
ハ餘程一ツ御考ヲ願ヒタイ、高等小學ト云
フ方モ重大ナコトデゴザイマスルガ、是ト
青年學校ノ普通科トヲ長短補足シテ、一ツノ
青年學校普通科トセラレルコトガ確ニ時代
ニ適スルコトデアリ、青年學校ノ將來ノ爲ニ
非常ニ良イコトデアルト云フコトヲ、御參考
マデニ茲ニ申上ゲテ置ク次第デゴザイマス
ソレカラモウ少シク文部大臣ニ御尋致シ
マスルガ、先般來モ屢、此ノ委員會デ問題ト
ナツテ居リマシタガ、學閥ト云ヒマスガ、
教員閥ト云ヒマスガ、是ガ地方小學教員ノ
上ニモ非常ナ影響ヲ致スノデゴザイマスガ、
何トシテモ東京、廣島ノ高等師範學校、是等
ノ人達ガ主ニ師範學校長トカ中等學校長、

或ハ職員トナツテ來、更ニ又地方ヘ參リマ
スト師範學校閥ト云ヒマスガ、教員閥ト云
ヒマスガ、兩方ニ親方ガアツテ、サウシ
テ其ノ教員達ハ校長トナルニモ、進級ス
ルニモ、其ノ間ノ運動ニ齟齬シテ、兒童ノ
爲ニ教育ヲスルト云フヨリハ、寧ロ自分ノ
爲ニ教育ヲ業トスルト云フヤウナ姿ニ見エ
ル先生モアルノデアリマス、餘程ノ人ニア
ラザレバ、之ヲ打破ツテ、自己ノ信念ニ基
イタル使命ヲ突切ツテ行クト云フ先生ハ私
ハ少イト思フノデゴザイマス、斯様ナ狀態
ノ結果ガ種々ナル弊害ヲ續出シテ來テ居ル
ノデアリマス、今日ノ思想ノ上ニ於テモ、
兒童ノ健康、體位ノ上ニ於テモ、有ユル方
面ニ子供ノ爲ニ教育スルト云フ考デアリマ
スルナラバ、ドウゾ此ノ子ガ一代健康デ、
一代仕合セデ暮セルヤウニ思ツテ教ヘテ
吳レル、師ノ師タル誠意ガアツテヤツテ吳
レルナラバ、此ノ最モ幼弱ナル頭腦ヲ持ツ
テ居リ、先生ノ言フコトヲ親ノ言フコトヨ
リモ能ク聽ク時代ニ、先生ガ溫イ、眞ニ愛
スル信念カラ教ヘテ吳レルト云フノト、又
自分ノ榮達進級ノ爲ニ齟齬シテ、ソコ等ニ
氣ヲ奪ハレテ居ルノトハ、其ノ間ニ於テ非
常ニ違フ、自己ノ榮達進級ノ爲ニ齟齬シテ
居ルヤウナコトデハ、弊害ノアルコトハ言

ハズシテ明カデアリマス、サウシテ又翻ツテ先生ノ立場カラ見レバドウカト言ヒマシレバ、是ハ洵ニ同情セザルヲ得ナイノデアリマス、若シサウスレバ上ノ者ヤサウ云フ連中ニウマクヤラネバ、自分ハ何時マデモ校長ニモナレヌ、昇進モ出來ヌ、下手スレバ首ニナツテシマフト云フヤウナコトヲ案ズル、ソレダニ依ツテ是等ノ者ガ落著イテ其ノ職ニ安ズルコトガ出來ナイヤウナ狀態ニモ見受ケラレル、デアリマスカラ自然先生モ、結局此ノ閣ニ對シテ先ヅ關心ヲ持ツテ、色々上手ニヤツテ行カナケレバナラヌト云フヤウナ狀態デアルカラ、是亦其ノ立場ニナツテ見ルト同情セザルヲ得ヌヤウニ思フノデアリマス、斯ノ如キ弊害ハ、獨リ私ノ一地方ニ偏シタル見方ヲ以テ私が推察シテ居ルバカリデハナク、恐ラクハ私ハ廣イ全國ノ間ニ其ノ例ガ少クナイモノデハナイカト思フ、殊ニソレガ表面ニ現ハレ來タル醜事實ハ、洵ニ教職トシテアルマジキ、今日司法上ノ犯罪マデ起スト云フヤウナコトガ表面ニ現ハレテ來タ事實デアリマスガ、現ハレザル方面ニアル所ノモノヲ見マシタ時ニハ、幾多ノ醜イ行為ガ私ハ包藏セラレテ居ルヤウニ思フ、若シサウ云フ事實ガアリマスルガ爲ニ、縣視學ニサウ言ッ

テ行キマス、其ノ縣視學ハ校長トノ連絡ヲ取ル、ソコデ調査ヲ行ツタ時ニハ早ヤチヤント巧ク繕ツテアリマス、遂ニ縣會ノ問題ニナツテモ、其ノ責任ヲ明ニスルト云フコトハ極メテ少イノデアリマス、地方長官ガ之ヲ見テ居リマシテモ、學務部長近所マデ行キマス、ドウヤラナツテシマヒマス、サウシテ知事ノ手許マデ行ツタ所ガ、ドウヤラ斯ウヤラ揉ミ潰シテシマフ、若シ夫レ中等學校ナント言ヒマシテモ其ノ通りデゴザイマス、文部省ノ方マデ色々又茲ニ運動ヲ試ミル、コンナコトガ本省ニ分ツテ居ラス答ガナイノデゴザイマス、分ツテ居ルニ何故改革ガ出來ヌカト云フト、本省亦サウ云フコトデハナイカト思フノデス、若シ茲ニ情實ヲ入レザレバ感情ヲ害スル、色々ナコトデ或ハ本省デモ、何時モ事ガ起ツタ時ニハ生半可デ事ガ終ツテシマフ、有耶無耶ノ裡ニ是ガ葬リ去ラレル所ニ、積弊益甚シクナツテ來ルト思フノデアリマス

ソレデ私共ガ此ノ青年學校ニ付キマシテ苦々シク思フ事ハドウ云フコトカト云フト、是等ガ寄集ツタ時ニドウ云フコトヲスルカト云フト、青年學校、實務學校ヲ潰スト云フコトニ努力スルノデアリマス、自分達ノ教權擁護ト云フコトハ宜シイ、宜シイガ無理ナ教權擁護ノ下ニ、高等小學ヲ青年學校ニ取ラレテハ困ルト云フノデ、コチヲ潰スコトヲ以テ成功者ダト彼等仲間デ稱セラレテ居ルト思フ、サウ云フモノハ恐ラクハ榮轉シテ行クダラウト思フノデアリマス、私ノ方ノソレダケノ歴史ヲ持ツタ學校デスラ遂ニ潰レテシマヒマシタ、ソレデ現在ハ仕樣ガナクテ、縣廳ガ實業學校ニソレヲ變ヘタノデアリマス、ドウシテ潰レタカト云フト、學務當局、所謂人事ヲ扱ツテ居ル人達トサウ云フ連中トノ關係モアリマシ、師範學校ノ卒業生デアルカラ、實務的ニヤル所ノ校長初メ皆入替ヘテシマツタモノダカラ、其ノ結果ハドウダト云フト、何モコンナコトハ違ヒヤセスト云フノデ、遂ニ潰レテシマツタ、現ニ私ノ方ナドデハサウ云フ學校ガアリマスガ、校長ニ師範學校出ノ校長ヲ呼ンデ來タラ必ズ潰レテシマフ、實業學校カラ出テ來タ先生ハ先ヅ追出シテシマフ、サウシテ師範學校出ノ者ヲ入レテ普通教育ヲシナケレバナラスト言ツテ、即チ八年一貫シタル所ノ基礎教育ヲスルト云フコトヲ師範學校ノ理想ト致シテ居リマスルノデ、實務ト云フコトハトント師範學校ノ教ヘ方デハ分ラヌノデアリマス、上級學校ヘ行ク所ノ小學兒童ノ教育ト云フコト

ニハ、是ハ成程試験勉強ヲサセタリ、サウ云フ上級學校ニ入レルト云フコトニ付テハ宜シイノデゴザイマスガ、實際ハ詰ラヌモノデ、直チニ社會人トナルト云フモノヲ教育スルト云フコトニナリマス、實務教育ニ關係シタ知識ガナイ、此ノ人ニ青年學校ヲヤラセルト云フコトニナリマスガ、青年學校ヲヤラセルト云ツテモ、是ハイカス、ノミナラズサウ云フ者ガ居ツテ段々經チマスルト、今ノ學閥、ソレカラ實業學校ト師範學校トノ折合ヒ、斯ウ云フコトノ爲ニ、私共ハ教育ノ百弊是ヨリ生ズルト云フコトヲ思フノデアリマスガ、幸ニモ文部大臣ハ教育界ニ付テ權威アル革新ヲナサレルモノトシテ、一般國民ガ期待ヲ持ツテ居ルノデゴザイマスカラ、願クバ大臣ハ此ノ期待ニ副フヤウニ、一ツ斷乎タル御處置ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、之ヲ革新セザレバ、如何ナルコトヲ改革致サレマシテモ、ソレハ實際問題トシテ私ハ成果ヲ舉ゲルコトハナ點村ニキマシテ大臣ハ一體ドンナ御考ヲ持ツテ居ラレマスカ、御意見ヲ承リタイト思ヒマス

○荒木國務大臣 學閥ト申シマスカ、ソレニ對スル通弊、又地方々々ニ於ケル高等小

學校、實業學校、青年學校トノ間ニ蟠ル非常ナ細カキ、色々ナ人情カラ生ズル弊害ヲ逐一承リマシタガ、斯様ナコトモ折々耳ニ致スノデアリマス、又全般デハ無論ナイノデアリマスガ、教育ノ弊害ノ根源モ茲ニ兆シテ居ルトモ認メラレルノデアリマスケレドモ、最近是等ニ對シテ文部當局ノ各方面ニ於キマシテ、斯様ナ弊ノ起ラザル人事ノ配當、即チ一ツノ學校出身ノ者ガ一ツ所ニ固マル、或ハ弊害ノ強イ者ガソコニ徒黨ヲシテ——アツテハナナイコトデアリマスケレドモ、假ニ左様ナコトガアルト云フヤウナコトモ、人情ノ常トシテ已ムヲ得ザルト云フヤウナコトモ考慮致シマシテ、其ノ人事ノ配當ヲ圖ルベク適當ニ之ヲ分散セシムル、或ハ弊害ノナイヤウニスルト云フ方法モ段々講ゼラレテ居ルノデアリマス、是ハ人事ノ取扱ニ付テノ問題デアリマスガ、又師範教育ノ内容ニ於テサウ云フ點ニ對シテ、殊ニ苟モ教導ノ職ニ當ル者デアリマスルカラ、サウ云フコトニ付テハ人情ノ機微已ムヲ得ザルモノガアリト致シマシテモ、他ノ方面ニ行ハレルヨリモ更ニモツト高イ所ニ立タナケレバナラスト云フヤウナ、師範學校ノ教育内容ニ於テモ此ノ點ヲ考慮スル、是モ今回ノ師範學校ノ制度ノ改正ニ

伴ウテ當然行ハルベキモノデアリ、又行ハナケレバナラストモノト考ヘテ居リマス、斯様ナ點ヲ考ヘ、又地方々々ニ於テ左様ナ弊害ノ如實ニアルト云フコトハ、左様ナコトヲヤリマシテモ亦起ルベキ問題ト存ジマスカラ、是等ノ監督指導ニ對シテハ縣廳ヲ督勵シ、自治體ニ反省ヲ促シテ、假ニモ左様ナコトノナイヤウニ、文部當局ト致シマシテ十分ナル戒飭ヲ加ヘルコトニ今後一段ト留意致シ、更ニ此ノ方面ニ對スル督學、視學ト云フコトノ厲行等モ行ウテ、諸弊ヲ芟除致シタイト考ヘテ居ルノデアリマス

前段ノ御要望ノ小學、高等小學ノ問題ニ關シマシテモ、御意見ハ篤ト承リマシタ、段々御述ニナリマシタ中ノ仕事ニ付テハ著手ヲ致シテ居ルモノモアリマスノデ、十分考慮シテ、御要望ノ、都市農村ニ於ケル事情ニ依ル教科内容ノ區別、又師範學校出身者ガ實務ヲ知ラナイト云フコトニ對シテハ、是ハ師範教育ノ間ニサウ云フコトヲ行フヤウニ、今回學制改革ノ上ニ特ニ留意シテ居ルノデアリマシテ、實務カラ遠ザカル教育ハ、高學年ニ至ルニ從ツテ段々去ツテ行カナケレバナラスト云フヤウナコトモ考ヘテ居リマス、是等ニ依ツテ、御述ニナリマシタ點ノ改善ヲ圖ツテ行キタイト考ヘテ

居リマス、御諒承ヲ願ヒマス

○樋口委員 簡單ニ一寸希望ヲ述ベサセテ戴キマス、此ノ青年學校ノ義務制ヲドウシテモ完成シテ、青年大衆、即チ八割ヲ占メテ居ル者ノ社會的教育、此ノ青年學校ニ重キヲ置イテ、お互ニ之ニ全力ヲ盡シテ、サウシテ之ヲ專門的ニ青年教育トシテヤリ上ゲルコトガ、全ク必要デアリ、革新的教育ノ方法ダト私ハ思フ、世間傳フル如ク、八年制ニスレバ師範學校長ハ皆勅任官ニナレル、小學校長ハ奏任官ニナレル、コンナコトハマサカ彼等ガ目的ニスルコトデハアルマイケレドモ、少クトモ青年學校ノ普通科ガ潰レタト云フコトダケハ凱歌ヲ揚ゲテ居ルヤウニ思フノデアリマス、私ハ斯ウ云フ區々ナルコトノ爲ニ、刻下最モ重大ナル此ノ青年教育、殊ニ此ノ革新的の義務制度ニナサレマシタ大臣ノ御正斷ニ依リマシテ、此ノ點誤ラザル文部省案ヲ御考ヲ願ヒタイト云フコトヲ一言終ニ臨ミマシテ大臣ニ望ンデ、私ハ質問ヲ終リタイト思ヒマス

〔委員長退席、岡田委員長代理著席〕

○岡田委員長代理 野村君

○野村委員 此ノ委員會ガ開カレマシテ丁度本日デ十二回ト存ジマス、論ゼラルル點ハ、本體タル青年學校ニ關係シタ點、竝

ニ教育、思想、是等ニ關スル全般的ノ質問ガ行ハレマシタ、ソレデ私ハ大臣ト委員會間ニ於ケル質問應答ヲ見マシテ、青年學校自體ニ對スル具體的問題ハ別ト致シマシテ、一般ニ對スル質問ノ要點ハ、皇道精神ト家族制度ニ力ヲ盡サレタト思ハレルノデアリマス、ソコデ私ハ此ノ問題ニ付テ伺ヒタイ、即チ日本ノ國ノ世界ニ冠タル立派ナ歴史、國體、此ノ點ニ關シテ文部大臣ハ、皇道精神コソハ日本ノ國體ノ唯一デアツテ他ニ例ナイ立派ナコトデアアル、此ノ精神ヲ益々發揚スルヤウニ努メナケレバイカス、斯ウ云フ趣旨ノ御答辯ヲ繰返サレマシタ、私モ同様ニ感ズルノデアリマス、唯此處デ申上ゲテ置イテ伺ヒタイノハ、此ノ日本ノ國體ヲ益々發揚スルニ付テ一番ニ注意スベキモノハ何デアルカ、文部大臣ハ皇道精神デアルト仰セラレマスガ、是ハ御説ノ通りデアリマス、併シ皇道精神ト云フヤウナ抽象的ノ言葉デハ、解ル人ハ當然アリマスガ、有ユル人ガ全部解ルトハ申サレマセス、私ハ皇道精神ト云フ有難イ言葉——勿論ソレデナクテハナラス、ソレガ實體デアアル、併シナガラ抽象的ノ言葉デ解ル人モアレバ解ラナイ人モアルト感ズルノデアリマス、或ハ斯ウ感ズルノハ、私ガソレダケ頭ノ上ノ働キ

ノナイ結果カモ知レナイガ、又私ノ杞憂カモ知レマセヌガ、サウ云フ風ニ感ズルノデアリマス、ソコデ此ノ國體ヲ最モ國民ニ明確ニ諒解サシテ、其ノ有難サヲ感ゼシメテ、益、國威ヲ發揚セシムルニハ、其ノ國體ヲ顯ハス歴史、此ノ歴史ハ事實デアル、此ノ歴史ヲ知ラセルト云フコトガ最モ私ハ直接デアツテ、サウシテ諒解セシムルニ宜シイ、斯ウ感ズルノデアリマス、此ノ點ニ付テハ文部大臣モ昨日以來力ヲ籠メラレテ日本ノ歴史ヲ説カレテ、サウシテ此ノ日本ノ歴史コソハ皇道精神、國體、之ニ關シテ最モ重要ナル點デアルト云フコトヲ力説セラレマシタ、是ハ私モ全く同感デアリマス、所ガ此ノ歴史ト云フコトハ事實デアル、此ノ事實ハ事實トシテ教ヘテ初メテ入ル、所ガ今日ノ實際ニ付テ見マスト、ドウモ學術ノ中堅層ヲ成ス所ノ中等學校ノ教授科目ヲ見マスニ、大體一週間ニ地理ト歴史トヲ合セテ漸ク三時間デアル、他ノ外國語等ト比較致シマスト、外國語ハ一週間ニ五時間デアル、故ニ外國語ヨリハ時間ニ於テ少イ、其ノ上地理ト歴史ト合セテモ三時間デアリマスカラシテ、是ガ半分々々ニ教授サレルトスルト一週間ニ漸ク一時、間半デアリマス、斯ウ見ナケレバナライ、其ノ上ニ此ノ一時間半ノ中ニ、更ニ歴史ニ

於キマシテハ、東洋史並ニ西洋史モ入ツテ居リマス、サウ致シマスト一時間半ノ時間ナラバ、全部其ノ時間ヲ日本歴史ニ注ギタルナラ宜シイガ、ソレガ又東洋歴史、西洋歴史トナルノデアルカラシテ、結局一週間ニ一時間以内デアラウト思フノデアリマス、尤モ是ハ學年ニ依ツテ多少違フノデアリマス、ソレデアアルカラ一律ニハ申サレマセヌ、サリナガラ大體ニ於テ日本ノ歴史ノ時間ト云フモノハ極ク少イ、即チ外國語ノ勉強ノ時間ニ比シマスト非常ニ少イノデアリマス、ソレデアリマスカラシテ吾々ハ偶、學生ヲ捉ヘテ色々質問致シマスト、日本ノ歴史ヨリハ寧ロ外國ノ歴史ニ精シイヤウナ人ガ偶ニ見受ケラレルノデアリマス、全部トハ申サレマセヌガ、是ハ學生ガ日本ノ歴史ヲ嫌ツテ、西洋ノ歴史ヲ好クト云フ譯デハナイ、教育ノ方針ガ左様ニ出來上ツテ居リマスカラシテ、自然ノ結果トシテ、日本ノ歴史ヨリハ全體ト申シマセヌガ、外國ノ歴史ノ方ヲ知ツテ居ル人ガ居ル、斯ウ云フ事實デアリマス、私ハ斯ウ云フコトヲシテ果シテ日本ノ國體ト不可分ナル歴史ニ對シテ、十分ナル理解ガ出來ルデアリマセウカ、之ヲ疑フノデアリマス、日本ノ歴史ガ必要デアルト大臣ガ昨日ノ如キハ力強ク力

説サレタガ、私モ同様デ、日本ノ皇道精神、國體ヲ心カラ理解スルニハ、一ニモ日本歴史、二ニモ日本歴史、三ニモ日本歴史ト固ク信ズル次第デアアルノデアリマス、故ニ私ハ此ノ知識ヲ學生ニ打チ込ムト云フコトハ、是コソ最モ必要デアアル、單純ニ皇道精神ト云フ抽象的ノ意見デハドウデアラウカト私ハ信ズル次第デアリマス、民族文化史ヲ書イタ「ハインリツヒウオルツ」氏ガ斯ウ云フコトヲ言ツテ居ル、最上ノ公民教育ハ歴史教育デアル、斯ク喝破シテ居ルノデアリマス、是ハ千古ヲ貫ク鐵則デアリマス、祖國、自分ノ國ノ歴史ヲ知ラス者、ドウシテ自分ノ國ノ愛ヲ説クコトガ出來ルデアリマセウ、尙ホ例ヲ取ツテ申スト、根ヲ切ツタ木ニドウシテ枝ガ茂ラデアラウカ、根ヲ切ツテ枝ヲ茂ラスト云フコトハ不可能デアアル、其ノ國ノ歴史ヲ知ラザル者ニ其ノ國ノ愛國ノ精神ヲ説イテモソレハ到底駄目デアアル、斯ウ歴史ニ對スル先覺者ハ申シテ居ルヤウナ次第デアリマス、故ニ私ハ此ノ點ハ餘程重要デアルト思フ、現ニ實際問題トシテ、數年前ニ御承知ノ通り共產主義ニ染マツタ學生ガ相當アリマシタ、其ノ時ニ學生ハドウ云フ原因カラ一體共產主義ニ染ツタノデアルカト云フコトヲ當局ニ於テ調査シマシタ、其

ノ調査ノ結果ニ依リマスト二百六十六人ノ中百六十六人マデ「マルクス」ノ本ヲ讀ンデ居ル、其ノ他ノ僅少ノ人ハ生活上ノ關係、境遇上ノ關係ヲ遂ニ惡イ思想ニ染マツタ、サウ致シマスト此ノ教育ノヤリ方如何ト云フコトハ、如何ニ學生ニ重大ナル影響ヲ及ボスカト云フコトガ分ル次第ナノデアリマス、斯ク申シマスレバトテ、私ハ日本ノ歴史ダケニ力ヲ入レテ他ハ留守ニシテモ宜イト云フ固陋ノ議論ヲスルモノデアリマセヌ、日ニ新ニシテ日ニ進ムト云フノハ、是ハ日本建國以來ノ國是デアアル、ソレデアラカシテ世界各國ノ知識ヲ吸收スルト云フコトハ當然デアリ、又努メナケレバナラコトデアアル、唯主客顛倒シタヤウナ考デ、基本的ニ必要ナコトヨリハ、ソレ以外ノコトヲ主ニシテヤルノガイカヌノデアアル、外國語モ必要デアリ、外國ノ歴史モ必要デアアルガ、私ハ此ノ際日本歴史ヲ基礎トシテ、今日以後八紘一宇ノ實現ヲ期スルコトガ當然デアアル、唯主客顛倒セズ、日本ノ國ノ歴史ヲ基礎トシテ、サウシテ外國語、又外國歴史ヲ適當ニ配分シテ、將來ノ子弟ヲ教育シナケレバナラス、斯ウ信ズルノデアリマス、サウスルト或ハ曰ク、今マデヤツタコトガ間違ツテ居ルノデアアル、斯ウ云フ

ヤウナ批評モ出ルト思ヒマスガ、隨テ文部ニ對シテモサウ云フ批評ハ自然出テ來ル譯デアル、併シ私ハ今マデヤツタコトハ惡イトカ何トカ云フ批評ハ決シテ致シマセヌ、又惡イトカ良イトカ云フ所ニ頭ヲ留メル私デモアリマセヌ、唯今日以後ノ方法トシテハ、何トシテモ此處デ更生シケレバナラヌ、此ノ所謂心配カラ申上ゲタノデアリマス、然ラバ今日マデヤツタノガ惡イカト言ヘバ、私ハ西洋各國ノ文明ヲ急速ニ採入レル爲ニ、隨テ害ニナル點ヲモ、急ナルガ爲ニ採入レタノデアツテ、惡意ガアツテヤツタ譯デハナカツタ、故ニ私ハ今日マデノ政府ノヤツタコトガ惡イトハ思ヒマセヌ、唯今日以後ハヤハリ日本ノ建前、日本ノ本體ヲ明ニシテ、サウシテ進歩發達セシムルニハ、私ハ此ノ際ガ之ニ對スル改正ノ好時機デアリハセヌカト思フノデアリマス、ソコデ此ノ歴史ニ對シテドノ程度ノ知識ヲ學科的ニ授ケルカ、此ノ點ニ對シテハ、是ハ十分審議シテ、時代ニ應ジテ、總テニ即シテ、ココデ從來ノ課程ヲ變更シテ掛ルノガ適當デアルト堅ク信ズル、幸ヒ此ノ點ハ、荒木文部大臣ハ頻リニ日本ノ歴史ノ尊イコト、皇道精神ト不可分の御意見デ、洵ニ結構ナ話デアリマス、此ノ際コソハ最モ必

要アル、唯抽象的ニ皇道精神、皇道精神ト仰シヤツテモ、露骨ニ申スト分ル人モアリ、分ラザル人モアル、斯ウ云フ考ヲ私ハ持ツテ居ルノデアリマス、ソレデアリマスカラ、實際的ニソレヲ頭ニ打込ムコトガ必要デアル、一體教育ニ關スル政治ハ、腹ノ空イタ時ニ御飯ヲ食ベルヤウニ、直チニ効果ヲ生ズルモノデアリマセヌ、他ノ政治ニ於テハ直チニ效果ノ生ズルモノモアル、例ヘテ言ヘバ物價政策ノ如キ、賣惜トカ買占トカ、ソレガ爲ニ政治ヲ困ラセル時ニハ一片ノ通牒ヲ出シテ、其ノ通牒ノ效力ニ依ツテ直チニ價格ノ公正ヲ來スコトハアルノデアリマス教育以外ノ政治ニ於テハサウ云フ即時即效ノ結果ヲ生ズルコトハアリマセウガ、併シ教育ハ中々サウハ參リマセヌ、共產主義ノ本當ノ種ヲ蒔イタノハ、要スルニ明治ノ中頃ニ、前ニ申シタ通りニ有ユル歐米各國ノ文化ヲ吸收スルニ急ナル結果、其處ニ毒素ガ入ツテ居タ、其ノ毒素ガ三十年カ四十年カノ今日現ハレタヤウナ次第デアルノデアリマス、古人モヨク言ウテ居ル、木ヲ植エルニハ十年掛ル、人ヲ植エルニハ二十年掛ル、私ハ是ハ本當ダト思フ、今日此處デ文部大臣ガ斷乎トシテ此ノ點ヲ時勢ニ應ジテ改革ナサツタ所デ失禮デスガ、是

ガ二年ヤ三年デ效果ハ發生致シマセヌ、ヤハリ十年、二十年掛ラナケレバナラヌ、教育ハソレデ宜シイ、教育ハ永久デアアル、日本ノ國ト共々ニ永久ノモノデアアル、ソレデアルカラ一時ノ政治的ノ功名心ニ走ル仕事トハ全ク違ツテ居ル、此ノ點ハ豫メ考ヘテ置イテ戴キタイ、今日此ノ改正ヲナサツタナラバ、十年、二十年後ニ必ズヤ其ノ時ニ出遭フ所ノ國民ハ喜ブ所トナリ、即チソレガ國ノ爲ニナルト云フコトヲ私ハ斷言シテ憚ラヌノデアリマス、ソレデアリマスカラ、私ハ此ノ際果斷ニ富マレタ文部大臣——抽象論モ結構ニ承リマシタ、又ソレニ相違ナイガ、之ヲ實行スル政治ノ實力トシテ、此ノ教科ニ對スル改正ヲ實行ナサル考デアルカ、又實行ナサルニ相違ナイト思ウテ居リマスガ、動トモスルト、ソレニ同意ハシテ實行サレヌコトモアル、是ハ過ギタル杞憂デアリマスガ、之ニ對スル文部大臣ノ御意見ヲ伺ツテ置ク次第デアリマス

○荒木國務大臣 皇道ヲ仰イデ一切ヲ輔翼ノ上ニ捧グベキ帝國臣民ノ精神ヲ教養スル爲ニ、教育方面殊ニ國史ノ方ニ重キヲ置クコトガ必要デアルト云フ御意見ニ對シマシテハ、全然私モ爾ク考ヘルノデアリマス、過去ニ於ケル歴史ノ時間ガ、只今ノ中學ニ於テ地歴併セテ三時間、英語ガ五時間、確ニ其ノ點ハ偏重セラレテ居ルヤウニ考ヘルノデアリマス、今日ニ於テ英、漢、數ヲ主要科目ト考ヘテ居ル試験制度ニモ誤ガアルト思ヒマス、點數ト云フヤウナ點ニ對シテモ誤ガアルノデハナイカト思ヒマス、斯様ナ點モ考慮致シマシテ、國史ノ教育ノ必要ナコトハ認メルノデアリマスガ、之ヲ如何ニ配スルカハ、科目ノ上ニ配合セラレタ時間ニ制限ガアリマス、他ノ方面ノ時間ヲ詰メネバナラヌ、ト云ツテ此ノ頃英語ノ廢止論モ起ルノデアリマスガ、是ハ餘リニ怯エタ考ヘ方デアツテ、語學其ノモノノ教育方法ヲ變ヘレバ、更ニ效果的デアリ、語學ヲ自分ノモノニスルコトガ出來ヨウト考ヘ、語學方面ニ對スル時間ノ節約モ左様ナコトニ依ツテ出來ルノデハナイカト密ニ考ヘテ居ル次第デアリマス、而シテ今御示ニナリマシタヤウニ、一國ノ民心ノ歸趨ハ此ノ國史ノ教育如何ニ關スルコトハ、外國ニ於テスラ既ニ然リト致シマスレバ、我國ノ國史、歴史ハ外國ト其ノ趣ヲ全ク異ニシテ居ルノデアツテ、外國ノ歴史ハ現代ヲ去ツテ民族ノ分裂、國家ノ分裂ニ至ツテ既ニ終ツテシマフノデアアル、又中ニハ甚ダ建國ノ狀態ノ茫漠タルモノガアリマス、其ノ歴史デスラ、

自己ノ民族國家ノ誇ヲ一タビ頭ニ入レバ、勃然トシテ愛國ノ精神ト云フモノガ喚ビ起サレルノデアリマス、況ヤ我國ノ歴史ハ一貫シテ居ツテ、殊ニ開闢、天地創造ノ初カラ一貫シテ歴史ヲ今日マデ持つテ居ルト云フコトハ、私ハ中々尊イコトデアルト思フノデアリマス、茲ニ國史ヲ通ジテ教育ヲシ、日本精神ヲ養フテ行クト云フ上ニ付テ、歴史ノ教育ニモ亦一ツ大イニ反省ヲスベキデハアルマイカ、昭和六年ニ既ニ中等學校ノ教授要目デ歴史ノ教育スベキ點ヲ示シテアリマス、之ニハ十分ニ只今御話ニナツタヤウナ點ハ含マセテ示シテアルノデアリマス、併シナガラ動モスルト紀元前ノ我が歴史ト云フモノハ檢討ガ困難デアリマスシ、説述モ甚ダ難カシイガ爲ニ、之ヲ避ケテ、紀元以後ニ互ツテ述べ、又甚シキハ歴史學ト云フモノガ、所謂考古的デアリ、實證的デアルト云フ爲ニ、其ノ事實ヲ穿鑿スルト云フ方面ニ趨ツテ、歴史其ノモノガ如何ナルモノデアルカト云フコトニ對シテノ基礎觀念ガ、乏シイヤウニモ考ヘラレルノデアリマス、歴史學ノ研究ノ上ニ付テハ然リデアリマセウガ、苟モ歴史ヲ讀ミ、殊ニ我國ノ國史ヲ研究スル上ニ付テハ、全ク考ヲ別ニシナケレバナラスト私ハ信ズルノデアリマス、

即チ我國ノ歴史ガ單ニ事實ヲ述ベタ一ツノ記述ニ止マラズシテ、遠ク紀元前ノ歴史ニ遡リマス、茲ニ一ツノ哲學ガアリ、茲ニ一ツノ宗教ガアリ、茲ニ一ツノ道德ガアリ、茲ニ一ツノ政治ノ基本ガアリ、茲ニ一ツノ國民ノ一般社會ノ根本原理モ見出シ得ルノデアリマシテ、即チ我國ノ歴史ハ一ツノ聖典デアアルノデアリマス、此處ニ思ヒヲ致サズシテ歴史ニ入リマスコトハ、我國ノ歴史教育ニ於テ非常ナ根本ノ誤デアル、分ラナイ言フ、分ラナイト云フコトハ、先程來此處デ椎尾委員カラモ御話ガアリマシタヤウニ、非常ニ自己其ノモノニ囚ハレテ、小サク自ラヲ見テ行クカラデアツテ、自然大ノ中ノ自己デアリ、我國ノ宏遠ナ肇國ノ上ニ立ツタ日本人デアアル、斯ウ云フ點ニ思ヒヲ致サセル爲ニハ、歴史教育ノ上ニ付テ深ク思ヒヲ致サナケレバナラス、茲ニ宗教ノ情操教育モ行ハレ、道德ノ基礎モ行ハレテ、我國ノ歴史ト離レ得ナイ一ツノ堅確ナ思想ガ出來ルト、斯ウ考ヘテ居リマスノデ、斯様ノコトニ依ツテ歴史教育ノ基礎ガ此處ニ在リ、一ツノ倫理デアリ、一ツノ修身デアリ、一ツノ哲學デアリ、一ツノ道德デアリ、政治デアルト云フ風ニ、植付ケルコトガ必要デアルト、私ハ苟カニ考ヘテ居ルノデアリ

マス、唯批判的ニ歴史ヲ眺メテ解剖スルト云フコトヲ以テ、歴史ヲ專攻シタカノ如クニ考ヘマスルコトハ、我國ノ歴史ヲ教授シ、或ハ研究スル上ニ付テハ、一面ダケヲ見テ、其ノ眞髓ヲ透徹シテ居ルモノデナイ、斯ウ云フ觀念ヲ今一般強ク植付ケテ、茲ニ國史教育ニ進ムコトガ必要デアツテ、今後ノ教科内容ニ付テハ、自ラ此處ニ思ヒヲ致サナケレバナラスト、斯ウ考ヘテ居ルヤウナ次第デアリマス、是等ノ點ニ對シテ其ノ實現ヲ期スル上ニ對シテノ工夫實行ニ向ツテハ、十分力ヲ致シ、思ヒヲ致シテ見タイ、斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス

○野村委員 御精神ハ私ト同ジコトニナル、即チ日本ノ國ノ歴史ハ他國ノ歴史トハ異ツテ居ル、其ノ通りデス、他國ノ歴史ハ多クハ水草ヲ逐ウテ移ル遊牧ノ民、是ガ部落ヲ成シ、一ツノ國ヲ建テル、斯ウ云フ風ナ種類カ、乃至ハ易世革命、取ツタリ取ラレタリシテ、サウシテ此ノ國ガ存續シテ行クトカ、又ハ放伐禪讓、斯ウ云フ種類ノ國デアツテ、日本ノ如キ建國其ノ時カラ萬世一系ト云フヤウナ斯ル歴史ノアル國ハ他ニハ無イノデアリマス、只今大臣ノ言ハレタル通りニ、他ノ國ハ多クハ放伐禪讓、易世革命乃至ハ水草ヲ逐ウテ移ル遊牧ノ民ガ、遂

ニ部落ヲ成シ、國ヲ成シタモノデアリマス、然ルニ日本ハ斯ル立派ナ世界無比ノ國體ヲ有シテ居ルノデアリマスカラ、此ノ國體ヲ益々鞏固ニシ、益々之ニ培フニハ、ヤハリ其ノ歴史ヲ知ラナケレバナラス、國民全體ガ其ノ歴史ヲ知ラナケレバナラス、ソコデソレヲ知ルニハ歴史ヲ習ハセナケレバナナイ、習ハセルニハドウ云フ風ナ場合ニ於テ、ドウ云フ風ナ方法デ習ハセルカ、サウシテ其ノ習ハセルノハ單純ニ日本ノ歴史ヲ知ルバカリデナシニ、是ガ有ユル方面ノ基礎ニナル、只今大臣ノ仰シヤツタ通り、道德ノ觀念モソレニ依ツテ培ハレ、一面ニハ茲ニ宗教的ノ華モ咲キ、有ユル效果ヲ生ズルノデアリマス、故ニ大臣ハ大乘的ニ眞ニ日本ノ國ト云フモノヲ根本トシテ教育スル、其ノ教育ノ基礎タル日本ノ歴史ニ付テ、茲ニ考ヲ述ベラレタガ、私ハソレハ適當デアルト思フ、偕テソレヲ實行スル課程問題デアアル、ドウシトラ宜シイカ、是ハ先刻モ申上ゲマシタ通り、英語ヲ全廢スルナドト云フ、決シテサウ云フ固陋ナ考ハアリマセヌ、是ハドウシテモ必要デアアル、唯其ノ按排ノ仕方ハハ實際問題デアアル、此ノ實際問題ニ對シテ適當ニヤツテ戴キタイ、幾タビカ文部ノ行政改革等ガアリマス、屢々否

ナ議會毎ニサウ云フ問題ハアルガ、偕テ實際實行ニナルト、ソレガ實行ノ結果ヲ見タコトハ少イ、幸ヒ今回ノ文部大臣ハ非常ニ果斷ノ御方デアアルカラ、今アナタノヤウナ人ガ其ノ局ニ居ラレル時ニ、サウシテ今ノアナタノ仰シヤツタコトハ心カラノ信念ノ御言葉デアルト斯ウ私ハ思ヒマス、此ノ信念ヲ之ヲ此ノ儘事實ニ施シテ、サウシテ日本ノ將來ノ國民ニ模範ヲ示シテ戴キタイ、否ナ之ノ指導方針ヲ教ヘテ戴キタイ、斯ウ云フノデアマリソレカラ先刻時間ニ付テ、他トノ比較ニ付テハ、私ハ是ハ大體ヲ申上ゲタノデアツテ、若シ夫レ正確ニ言ウタナラバ、其ノ教授時間等ニハ甲乙モアリマセウ、サウ云フ些々タル事務的ノコトハ私ハ質問ヲスル意思モナケレバ答辯ヲ求メル考モナイ、唯大局ニ於テ是ガ大事デアアル、又大臣ニ質問スル理由ハ此處ニ在ル、細カイ事務的ノコトデハアリマセヌ

尙ホ茲ニモウ一ツ質問スル、是ハ大局ノ問題デアアル、ソレハ今御話ノ中ニモ出タ、又屢々總理大臣初メ論議サレマシタ祖先崇拜ノ問題デアリマス、日本ノ國體ハヤハリ祖先崇拜ト云フモノヲ確ニ重キヲ置イテ居ル、家族制度ハドウシテ生レタカ、一體家族制度ト云フモノハ日本以外ニハアリマセヌ、

尤モ稍、似通ツタモノハアル、併シ日本ノヤウナ家族制度ハ世界ニナイ、ソレハドウ云フコトカト申シマス、日本ノ家族制度ハ祖先崇拜、即チ大臣ノ御言葉ノ崇敬デアアル、此ノ祖先崇敬、親族協同、是ガ日本ノ家族制度ノ根源デアアル、所ガ外國デハ御承知ノ通りサウデハナイ、個人本位デアアル、日本ノ家族制度ハサウデハナク、祖先崇拜ト云フ目安ノ下ニ親族關係ガ茲ニ協同シテ生活ヲスル、是ガ違フ、祖先崇拜ノ此ノ立派ナ家族制度ガ日本ノ國體ヲ益、有難クサセタ確ニ原因デアアル、此ノ立派ナ家族制度ガ今日ドウ云フ傾向ヲ來シテ居ルカト申シマス、先程モ申シマシタ通り一時西洋ノ文物ガ非常ニ輸入サレタ、何モ彼モ西洋風デナケレバ夜モ日モ明ケヌ時代ガアツタ、併シ文明ヲ吸收スル時ニハ——何モ明治ノ時代バカリデハアリマセヌ、佛教ガ入ツタ時ニハ、其ノ文化ヲ吸收スル爲ニ何モ彼モヤハリ佛教的ノ行爲ニ出タノデアアル、今日京都ニ立派ナ寺ガ建ツテ居ルノハヤハリ其ノ一ツノ痕跡デアアル、又儒學ガ入ツタ時モ同様デアアル、唯日本ハソレヲ醇化シテ、其ノ良イ惡イヲ甄別シテ醇ハサレヌ、ココガ日本ノ偉イ所デ、ココニ日本ノ良イ所ガアルノデアリマス、明治ノ中頃ニ

西洋ノ物質、精神兩方面ノ制度ガ入ツテ來マシテ、ソコデ明治三十一年カト思ヒマシマス、民法ノ規定ガ出來タ、是ガ今日行ハレテ居ル民法ノ規定デアアル、アノ時ニヤハリ親族、宗教ニ關スル規定ガ出來タ、其ノ親族宗教ニ關スル規定ヲ作ル時ニ、各國ニハ親族法ハアルガ、家族制度ハナイ、其ノ親族法ヲ日本ヘ移植シタ結果、ヤハリ此ノ日本ノ家族制度ヲ織込シタケレドモ、一體其ノ時分ハ各國ノ方ノ制度ガ良イト云フ頭デアツタカラ、日本ノ古來カラノ家族制度ヲ織込ムコトガ少ク、西洋カブレノ親族法ニシタ結果ハドウカト云フト、三千年來ノ淳風美俗ニ大ナル害ヲ與ヘタ、ソコデ大正八年ニ學者、識者ガ寄ツテ、是デハ日本ノ國ニ對シテ不利益デアアル、日本ガ今日マデ榮エ良クナツテ來タノハ家族制度ガ大ナル培ヒトナツタ、所ガ個人主義ノ制度ヲ其ノ儘採ツテ來テ——其ノ儘デハナイ、多少修正シタガ、ソレデ個人主義的ナ親族法ヲ持ヘタ、是デハイカスト云フノデ、大正八年ニソレノノ識者、教育者ガ寄ツテ會議ヲ開イテ、ソコデ是ハ改正シナケレバイカスト云フノデ改正ニ著手シマシタ、サウシテ慥カ昭和二年ニ大體ノ改正スベキ要綱三十四項目ト思ツテ居リマスガ、此ノ三十四項目

ヲ改正シテ、而モ日本ノ家族制度ヲ織込シタ親族、宗族ニシ、サウシテ三千年來ノ淳風美俗ヲ輝カサウ、斯ウ云フコトニナツテソレノノ議ガ進ミマシタガ、昭和二年ニ既ニ要綱ヲ書イテ世界ニマデモ發表サレマシタガ、今日マダソレガ成文ニナツテ居ナイ、隨ヒマシテマダ國民ニ對シテ效力ガナイノデアリマス、識者、學者ガ之ヲ成文化スルコトガ必要ナリト言フ此ノ法典ガ、惡ク言ヘバ十二年間モ棚曝シニナツテ居ル、其ノ儘デ置イテハ日本ノ各國ニ優レタ所ノ獨特ノ此ノ制度ヲ維持スルニ忠實デアルトハ言ヘナイ、是ハ何トシテモ此ノ法律ヲ早く出シテ、サウシテ世界ノ親族法ノ如キ唯單ニ個人本位、利害關係カラ來タ所ノ、成ベク親等ノ遠イ近イヲ以テ扶養ノ義務ヲ定ムルヤウナ法律ヲ改メテ、ソレデ日本ハ祖先崇拜、此ノ祖先崇拜ガ基本トナツテ親族關係、血族關係ガ相寄ツテ御祭ヲスル、此ノ祭祀コソ本當ノ家族制度デアアル、是ガ日本ノ國體ト合致スルモノデアアル、之ヲ明ニスル必要ガアルト思フノデアリマス、大寶令ニ致シマシテモ、養老律令ニシマシテモ、本當ニ三千年來支配シテ來タ昔ノ律令ハ、時ニハ曲ツタノモアリマスケレドモ、大體ニ於テ此ノ結果ハ大臣ノ御話ノ通り道德トカ

云フヤウナ關係ニ重キヲ持ツテ來タ、此ノ結晶ガ立派ナ日本精神トシテ現ハレタヤウナ次第デアリマスカラ、是非此ノ點ヲ改正シナケレバナラヌト云フコトハ、大正八年カラ識者ガ認め、而モ臨時審議會マデモ設ケテヤツテ居ルノデアアルガ、偕テ十三年間モ其ノ儘ニナツテ居リマス、殊ニ文部大臣モ祖先崇拜ヲ言ハレ、今日モ幾度カ之ニ對スル御意見ヲ聽イテ居ルノデアリマス、是モ皇道精神ト同ジヤウニ、抽象的ニ祖先ヲ崇拜セヨト言フダケデハ駄目デアアル、駄目トハ申サレマセヌ、一寸言葉ハ過ギマシタガ、要スルニ徹底的ニ肚ノ底カラ國民ニ納得サセ、了解サセルニハ、ヤハリ法律トシテ具體的ニ致スカ、實物ヲ行ハセルカ、實物ニ依ツテ頭ヲ感化サセルカ、ドツチカニシナケレバ駄目デアリマス、今日動モスレバ議論ガ抽象的ニ流レ、隨テ政府ノ訓令等モ唯抽象的ノ訓令ガ多イ、聽イテ居ル時ハソレ宜イカモ知レマセヌガ、偕テ之ヲ本當ニ行フト云フ時ニナルト中々能クソレヲ實行スルコトハ少イ、是デハ本當ノ政治デヤナイ、政治ト云フモノハ何トシテモ言ウタラ言ウタコトダケ事實ニ於テ行フダケノ決心ヲ以テソレヲ行ハナケレバ效果ハ舉ガルモノデハナイノデアリマス、今ノ家族制度、是ガ確立シ

テ、ソコデ祖先崇拜ト云フ法律の根本ガ出來、否、法律的ノミナラズ此ノ制度ガ日本の淳風美俗ヲ採リ入レタ所デ、ソコデ家族ノ温情、家族間ノ道德、當然祖先崇拜ノ信念ニナルノデアリマスカラ、此ノ法律——是ハ尤モ文部省デハナイ、司法省ニ屬スル法律デアリマスガ、併シ事ハ教化ニ屬スルモノデアリ、家族制度デアリマスカラ、ヤハリ教育ニ最モ深い關係ヲ持ツテ居ル、サウシテ此ノ問題ハ大正八年初メテ制定シタ頃ニハ、是ハ文部省ノ識者ガ首腦トシテ協議ヲ進メタ問題デアアルノデアリマスカラ、是モ文部大臣ハ早く此ノ制度ヲ確立シテ、サウシテ家族制度ヲ此ノ日本ノ獨特ナル立派ナ國體ニ副フヤウニ邁進サレタイノデアリマス、此ノ點ニ對シテ文部大臣ノ御所見ヲ伺ツテ置ク次第デアリマス

○荒本國務大臣 我國ノ淳風美俗ヲ永遠ニ保持スル爲ニ家族制度ノ確立ガ必要デアアルガ、之ヲ法制化スルニ付テノ意見、サウ云フヤウニ承ツタノデアリマスガ、マダ實ハ家族制度ノ法制ノ内容ヲ承知致シテ居リマセヌカラ、何故ニ今日ニ至ツテ居ルカ、内容ハ如何デアアルカト云フコトニ對シテハ即答致シ兼ねルノデアリマスガ、何處マデモ家族制度ノ適正ナル確立、我ガ國體ニ副ウ

テ、而モ家族制度ヨリ生ズル幾多ノ弊害ニ禍ヒサレザル、中庸ヲ得タ法制ガ必要ダト存ジマス、例ヘバ今日支那ノ狀態ハ家族制度ノ擴大ト申シマスルカ、ガラシナク扶養ノ責ヲ全部持ツガ爲ニ、遂ニ支那ノ家庭ハ、滿洲モ同一デアリマスガ、アア云フ狀態ヲ來シタト云フコトハ、東洋ニ於ケル美風タル中庸ノ教、何時デモ支那ニ於テ或ル判斷力ト申シマスカ、中庸ヲ得ナケレバナラヌ支那ノ教デアアルニ拘ラズ、ソレガ案レテ行ツテ、遂ニ總テヲ失ツテ居ルヤウナ狀態ヲ認メテ居ルノデアリマスガ、我國ニ於テハ其處ガ非常ニ廣ク、先程來御話ノアリマシタヤウニ、直チニ元ニ還ツテ自然ヲ眺メ、總テノ關係ヲ判斷スル能力ガアルコトハ、恐ラクハ國體モ其ノ一ツノ原因デアリマセウガ、環境、教育、風俗等カラ養ハレタ所デアラウト思ヒマス、其ノ點ニ對シテ歐米ニ發達シテ來マシタ血族關係ノ問題ト、東洋ニ發達シテ參リマシタ家族制度ノ進展トノ間ニアツテ、其ノ中庸ヲ得、適正ヲ得ルコトハ最モ必要ダト存ジマス、我國ニ於テハ其ノ點ガ十分ニ考慮セラレ、又自然ニ發達モシテ居ルト存ジマス、ソレ等ノ點ヲ十分ニ討究致シマシテ、一應記錄ヲ拜見ヲ致シマシタ後ニ、此ノ法制ニ關スル問題ニ付テ

ハ御答スル外途ハナイト存ジマス

○野村委員 或ハマダ此ノ點ハ御調査ニナツテ居ナイカモ知レマセヌ、ソレハ無理カラヌ話デアリマス、併シナガラ何トシタ所デ、日本ノ國ニ必要ナルモノハ日本ノ國體トサウシテ祖先崇拜デアアル、此ノ二ツガ總テノ基本ニナツテ居リマス、ソコデ私ハ支那ノ家族制度ハソレハ存ジマセヌ、併シナガラ西洋人ハ御承知ノ通り個人主義デアアル、其ノ結果自分ガ良イ地位ニナツテ財産ヲ澤山持ツテ居ツテモ、極端ナ例ヲ言フト、中ニハ親ハ養老院ニ行ツテ社會ノ世話ニナツテ居ルト云フ話ハママ聞ク所デアリマス、日本ハサウデハナイ、其ノ人ガ惡イコトヲスルト、オ前ハ惡イガ、ソレデハ先祖ニ申譯ガナイ、是ガドレダケ訓戒ニナツテ居ルカ分ラナイ、親ニ申譯ガナイ、ソコデ祖先崇拜ヲ原則トシテノ家族制度ト、ソレカラサウデナク、唯扶養ノ義務ガアルトカナイトカ、血族關係ガアルトカナイトカ云フ建前トハ違ヒマス、日本ノ家族制度ハ世界ニ類例ノナイ立派ナ家族制度デス、祖先崇拜、即チ日本ノ國ノ建前ハ國體ト祖先崇拜ト此ノ兩々相俟ツテ行クノガソレデアリマス、サウシテ扶養ノ義務ノ程度ナドニ付テハ、是ハサウ無限ニ及ボスベキモノデモナク、此

ノ點ハ又學者ノ說ニ依ツテモ自然ト限界ガ
アルノデアリマス、是ハ常識判斷デ出來ル
ヤウニナツテ居リマス、法文ハ決マツテ居
リマスケレドモ、今度ノ案ニシタ所デ大抵
總テノ點ハ斟酌シテ出來テ居リマス、私ハ
要スルニ此ノ二ツニ付テ十分御考慮下サツ
テ、英斷以テ實行シテ戴ク、斯ウシタナラ
バ是ハ確ニ立派ナ根本的ナ改革デアル、斯
ウ信ズルノデアリマス、抽象論ダケデ實行
ニ移ラスコトガママ多イト思ヒマス、ト申
シマス、私モ文部省ニ十年前ニ居リマシ
テ、ヤハリサウ云フ意見ヲ立デマシタガ、
遂ニ實行ニ移ラナカッタノデ、自ラ自分ノ
不明ト不徳ト無能ヲ恥ヂテ居ルヤウナ次第
デアリマス、ドウカ是非トモ此ノ二ツニ付
テ、根本的ナ問題デアルカラ實行ヲスルヤ
ウニ切ニ御願シテ、私ノ質問ハ是デ終リマ
ス、是デ宜シウゴザイマス

○岡田委員長代理 本日ハ是ニテ散會致シ
マス、次會ハ六日、月曜日ノ午後一時カラ
開會致シマス

午後五時五十分散會

昭和十四年三月三日印刷

昭和十四年三月四日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局